

2017年度

秋田県立近代美術館年報

Akita Museum of Modern Art Annual Report, 2017

目 次

沿 革	2
美術館の事業紹介	3
2017(平成29)年度事業一覧	5
展示事業	
スズキコージ・ヤッホーホイホー展	7
平成29年度国立美術館巡回展 国立西洋美術館所蔵 ミューズ(芸術の女神):まなざしの先の女性たち	14
Ippin! 逸品 明治工芸の至宝展	20
生誕100年 千葉禎介写真展	24
コレクション展	31
教育普及事業	
キンビ・創作体験プログラム	36
ミュージアムコンサート	40
美術館講座・美術講演	42
出前美術館・出前美術展	43
ネットワーク推進事業	47
ふれんどリーギャラリーを活用した展示	49
美術館のセカンドスクールの利用	50
博物館実習	51
美術館ボランティア	52
収集事業	
美術品収集	53
図書資料	54
美術品保存・修復	54
重要文化財等指定	55
地方創生拠点整備交付金事業	56
改修工事等	57
美術品の貸し出し	58
調査・研究業績	59
刊行物	60
入館状況	61
組 織	62
建築・設備概要	63
関係法規	64
館内図	66
利用・交通案内	68

1988(昭和63)年	11月	秋田ふるさと村(仮称)建設基本構想策定
1989(平成元)年	5月	秋田郷土美術館(仮称)建設基本構想策定
	12月	秋田ふるさと村(仮称)建設基本計画策定
1990(平成 2)年		文化課に新美術館建設準備担当設置
	6月	用地取得・造成工事着手
1991(平成 3)年	6月	美術館建設工事着手
1993(平成 5)年	6月	美術館建設工事完成
1994(平成 6)年	4月 20日	開館
1997(平成 9)年	10月 2日	天皇・皇后両陛下行幸啓
1999(平成11)年	4月	秋田ふるさと村入村料無料化
2001(平成13)年	1月	展示室以外の館内無料化
	9月 26日	入館者数1,000,000人を達成
2007(平成19)年	10月	入館者数1,500,000人を達成
2009(平成21)年	4月	特別展観覧料学生以下無料
2013(平成25)年	7月	入館者数2,000,000人を達成
2018(平成30)年	2月～3月	休館し、館内改修工事を実施
2018(平成30)年	4月	リニューアルオープン

美術館の事業紹介

◆ 展 示

企画展

美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を対象に特色あるテーマをもった展覧会を開催します。

コレクション展

当館所蔵作品を年4回の展示替えを行いながら、常時公開するものです。

Exhibition

Special Exhibition

Under a unique theme, native and foreign artwork are displayed in cooperation with other museums and organizations.

Permanent Exhibition

A portion of our collection is regularly displayed and each is rotated every few months.

◆ 収 集

近代以降の優れた美術作品を中心に、近・現代美術の思潮をたどるうえで必要な作品や資料を収集します。

- ①秋田蘭画・初期洋風画作品及び資料
- ②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品や資料
- ③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④当館の収集作品としてふさわしい内外の美術作品や資料

Purchasing Activities

In order to follow the current trends in modern and present day thought in fine art, our collection of fine works concentrates mostly on the postmodern era as described below.

- ① The Akita School of Ranga paintings, early westernstyle paintings in Japan, and the materials associated with these works.
- ② The fine art work of modern artists who are closely connected to, or are from Akita Prefecture, and related materials.
- ③ Works which teach us about the current thought in Japanese fine art, and the materials associated with these works.
- ④ Other native and foreign works which are of great substance, and the materials associated with them.

◆ 保存管理

優れた美術作品の散逸・損傷・亡失を防ぎ、後世に伝えるため、調査研究を行い、良好な環境の中で保存します。

Preservation

We have preserved all of the fine works in the best condition possible in order to prevent them from being scattered, damaged or lost.

We wish to continually improve our research and hand down these collections to future generations.

◆ 調査研究

当館の各種事業の充実を図るため、その基礎となる次のような調査研究活動を行います。

- ①収蔵品に関する調査研究
- ②秋田県の近・現代美術に関する調査
- ③保存・管理、教育普及活動、展示活動、創作に関する調査研究
- ④その他の調査

Research Activities

We are constantly researching in order to increase our knowledge and to improve the museum's collections.

- ① Permanent collection
- ② Modern and contemporary fine art from Akita Prefecture
- ③ Topics relating to the creation, exhibition and preservation of art, as well as the contribution of fine art to education
- ④ Other researches

◆ 広報出版

県民に親しまれる芸術文化活動の拠点として、種々の印刷物の刊行やマスメディアとの連携等により、美術館事業に関する情報を提供します。

Publicity Works Activities

As a center of art and cultural activity for People in Akita, we provide information about museum operations through pamphlets and the mass media.

◆ 教育普及

誰でもが気軽に利用できる美術館を目指し、展示活動を始め、講演会・美術館講座・実技講座等様々な事業を行います。また、美術館ボランティアAMC（アムック）との連携により、より積極的な普及活動を行います。

Educational Activities

In cooperation with the museum volunteer group (AMC), we hold various lectures, seminars and workshops.

2017(平成29)年度事業一覧

月／		企 画 展	コレクション展	◆移動展等	◇アーティストトークほか
2017		2月11日(土)～4月16日(日) 企画展 絵画×物語 描かれたストーリー	1月20日(金)～4月9日(日) 2016コレクション展 第4期 Myコレクション ー寄託作品のご紹介ー		
4				◇4/22(土)・23(日)スズキコージ氏ライブペインティング	
5		4月22日(土)～7月8日(土) 特別展 スズキコージ・ ヤッホーホイホー展	4月12日(水)～7月17日(月・祝) 2017コレクション展 第1期 没後20年 紺野五郎	◇5/6(土)スズキコージ展ワークショップ 「仮面 DE パレードだぜい！」&サイン会 ◇5/7(日)スズキコージ展ワークショップ 「万国旗を作ろうぜい！」&サイン会 スズキコージ展アーティストトーク 講師：スズキコージ氏(作家)	
6				◇5/27(土)スズキコージ展 ABSアナウンサーとのギャラリートーク ABS秋田放送 佐藤有希アナウンサー、当館学芸主事 ◇6/17(土)スズキコージ展 ABSアナウンサーとのギャラリートーク ABS秋田放送 酒井茉莉アナウンサー、当館学芸主事	
7		7月15日(土)～9月18日(月・祝) 特別展 国立西洋美術館所蔵 ミューズ(芸術の女神) まなざしの先の女性たち		◇7/15(土)ミューズ展 記念講演会 「女性たちはいかに描き、描かれたか」 講師：馬淵 明子 氏(国立西洋美術館長)	
8			7月20日(木)～10月9日(月・祝) 2017コレクション展 第2期 Femme 女性のすがた	◇7/16(日) ミューズ展 西洋美術館研究員によるギャラリートーク 講師：中田 明日佳 氏(国立西洋美術館研究員)	
9				◇8/6(日) ミューズ展 ABSアナウンサーとのギャラリートーク ABS秋田放送 鴨下望美アナウンサー、当館学芸主事 ◇8/19(土)ミューズ展 ABSアナウンサーとのギャラリートーク ABS秋田放送 八重樫葵アナウンサー、当館学芸主事	
10		9月23日(土・祝)～11月26日(日) 特別展 Ippin!逸品 明治工芸の至宝展		◇9/23(土・祝) 明治工芸の至宝展記念講演会 「明治工芸の魅力」 講師：村田 理如 氏(清水三年坂美術館長)	
11			10月12日(木)～1月31日(水) 2017コレクション展 第3期 生誕140年 平福百穂	◆9/30(土)～10/19(木) ネットワーク事業第1期「没後10年 横山津恵」 会場：秋田県立図書館2階特別展示室 ◆11/7(火)～11/11(木) 出前美術館 in MOJA (ミュージアム・オブ・神代アート) 会場：仙北市立神代中学校	
12		12月2日(土)～1月31日(水) 特別展 生誕100年 千葉禎介写真展		◇12/2(土) 千葉禎介写真展記念講演会 「千葉禎介の写真 ー昭和・秋田の記録と記憶」 講師：三上 満良 氏(宮城県美術館副館長) ◆12/16(土)～1/29(月) ネットワーク事業第2期 「絵画×物語 描かれたストーリー」 会場：秋田県立図書館2階特別展示室	
2018		12/29(金)～31(日) 年末休館			
1		同上	同上		
		1/9(火)～18(木) メンテナンス休館			
		同上	同上		
2		2月1日(木)～3月31日(土) 改修工事のため休館		◆2/10(土)～2/25(日) 出前美術展 中村征夫写真展 「ジープ島・海中顔面博覧会」 会場：能代エナジウムパーク	
3					

※文中敬称略

◇平成29年度 秋田県立近代美術館館長講座

「～古代の人々の祈りと造形～」

5/13(土) 呪術と造形 ～縄文のヴィーナスと土器

6/10(土) 古代国家形成へ向けて

～弥生・古墳時代の造形

7/22(土) 仏教の伝来 ～法隆寺と飛鳥時代の美術

8/ 5(土) 「みやこ」の造営

～白鳳から天平時代の彫刻・工芸

9/ 9(土) 東アジアのなかの日本美術

～高松塚古墳と法隆寺壁画

10/21(土) 唐風文化の全盛 ～大仏開眼と天平彫刻

11/11(土) シルクロードの終着点

～正倉院と天平時代の絵画・工芸

講師：仲町啓子

(秋田県立近代美術館長、実践女子大学文学部教授)

◇平成29年度あきたスマートカレッジ連携講座

明快！Artゼミ

① 7/20(木) 「国立西洋美術館所蔵

ミューズ：まなざしの先の女性たち」

講師：奈良 香 (秋田県立近代美術館学芸主事)

② 9/29(金) 「Ippin! 明治工芸の粋を楽しむ」

講師：保泉 充 (秋田県立近代美術館主任学芸主事)

③ 12/8(金) 「農村を見つめて

～千葉禎介の写真、その魅力」

講師：鈴木 京 (秋田県立近代美術館学芸主事)

特別講座

2/16(金) 「古代の人々の祈りと造形

～縄文から天平時代まで～」

講師：仲町啓子 (秋田県立近代美術館長)

★5/14(日) 2017コレクション展 第1期「没後20年 紺野五郎」ギャラリートーク①
②回目：6/11(日)

○5/28(日) スズキコージ展・こどもギャラリートーク①

②回目：6/18(日)

●6/ 3(土)・4(日)美術館教室 水彩画教室「花を描く」

講師：鈴木 司 氏(秋田公立美術大学美術センター教授)

★7/23(日) 2017コレクション展 第2期「Femme 女性のすがた」ギャラリートーク①
②回目：9/9(土)

●8/ 6(日) みんなの教室「Go! Go! 走るぞ! 木のクルマ」

●8/20(日) きつずあーと「びしゃびしゃアート」

◎8/27(日) 浅野未希&斎藤洋 ヴァイオリン・ピアノデュオコンサート

●9/ 2(土)・3(日)美術館教室 型染め教室「ハンカチを染めよう」

講師：森 香織 氏(秋田公立美術大学助教)

◎10/ 1(日) ミュージアムコンサート

「今に息づき 未来を奏でる 伝統の音 箏・尺八の調べ」

★10/ 8(土) 「Ippin! 逸品 明治工芸の至宝展」ギャラリートーク①

②回目：11/29(日)

○10/14(土) 明治工芸の至宝展ワークショップ「蒔絵に挑戦！」

講師：齋藤 國男 氏(工芸家)

●10/15(日) きつずあーと「どろどろアート」

●11/ 4(土)・5(日)美術館教室 日本画教室「猫を描こうⅡ」

講師：小笠原 光 氏(日本画家)

●11/19(日) みんなの教室 子どものための日本画教室「岩絵の具で遊ぼう！」

講師：樫尾 康子 氏(秋田県教育庁生涯学習課)

◎12/ 3(日) 堀澤麻衣子コンサート「火水の歌」

～ Somewhere in the World ～

★12/ 9(土) 生誕100年 千葉禎介写真展ギャラリートーク①

②回目：1/7(日)

●12/10(日) みんなの教室「光の箱をつくろう」

講師：松村 泰三 氏(東北芸術工科大学准教授)

◎1/ 7(日) 歌曲集『詩人の恋』～ハイネとシューマンの世界
レクチャーコンサート

展示事業

i. 特別展

スズキコージ・ヤッホーホイホー展

会 期 2017(平成29)年4月22日(土)～7月8日(土)【78日間】
主 催 スズキコージ展実行委員会
(ABS秋田放送・秋田県立近代美術館)
後 援 横手市／横手市教育委員会／秋田魁新報社／
河北新報社／横手かまくらFM／エフエムゆーとぴあ／
FMはなび／こどもの本WAVE
企画協力 メディアリンクス・ジャパン
担 当 西野美佳、木村雅洋

絵本原画やオブジェをはじめ、壁画、舞台美術など幅広い分野で活躍中のスズキコージ氏の展覧会を東北で初めて開催した。独特の世界観、鮮やかな色彩と濃密な描写による146点の作品をコージ氏監修の下で展示した。中でもライブペインティングによる大型絵画は圧巻であり、当館で制作した新作も同時に展示。制作時の状態をそのままに、臨場感溢れる展示で観覧者を魅了した。会場には平面作品の他、ダンボールで作ったお面やオブジェ、切り紙でつくった万国旗が賑やかに飾られ、まさにコージズキン（スズキ氏の愛称）ワールドとなった。会期中は、コージ氏によるイベントも多数行い、コージ氏の魅力を一層感じることができる展覧会となった。



第1～第4展示室：
(絵本原画)

番号	作品名	出版社	制作年	素材・技法	寸法(cm)
1	ゆきむすめ	世界文化社	1974(昭和49)年	紙・水彩・色鉛・筆	
1-1	ロシアの民話『ゆきむすめ』表紙	岸田衿子・文			41×50
1-2	むかし ある いなかに こどもの だいすきな おじいさんと おばあさんが すんでいました				41×50
1-3	まいにち こどもたちの あそぶのを みながら 「うちにも かわいい こどもが ほしいなあ」と おもって いました				37×66
1-4	「そうだ わしらも そとにでて ゆきだるまを ひとつ つくってみようよ」				37×66
1-5	ふたりが びっくりしていると ゆきむすめは てと あしを うごかして うちの ほうへ あるきだしました				37×66
1-6	「なんて かわいい こ だろう」「おじいさん かみさまが このこを くださったんですよ」				37×66
1-7	ゆきむすめは やさしい りこうな こだったの で ほかの こどもたちとも すぐに なかよしに なりました				37×66
1-8	ゆきむすめは なんとなく げんきが なくなり こどもたちと そとで あそばなく なりました				37×66
1-9	「そとは あつすぎるわ わたしは いかないわ」 いやがる ゆきむすめを こどもたちは つれだしました				37×66
1-10	ひが くれると たきびを して わに なって おどりました そのうち みんなで たきびを とびこえる あそびを はじめました				37×66
1-11	ゆきむすめは ゆうきを だして とびこえました その とたんに ゆきむすめは				37×66

みんなの めから みえなくなりました

1-12	たきびの うえの そらに ちいさな くもが たった ひとつ うかんで ながれて いきました	41×50
------	--	-------

番号	作品名	出版社	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
2	グスコブドリの伝記	くもん出版	1993(平成5)年	紙・水彩	
2-1	『グスコブドリの伝記』 表紙 宮沢賢治・文				50×39
2-2	おじさんはぶいっとネリを抱き上げて セなかの籠へ入れて そのまま「おおほいほい おおほいほい」とどなりながら 風のように家を出て行きました				51×40
2-3	てぐす飼いの男は 狂気のようになって ブドリたちを叱りとばして 夜も昼もがらがら 三つの糸車をまわして 糸をとりました				51×40
2-4	道のまん中に二人の人が大声で何か喧嘩でもするように云い合っていました				51×66
2-5	ひるごろ例のとなりの持主が 大きな鎌をもってやってきました 「やあ 何だってひとの田へ石油ながすんだ」				51×40
2-6	さっきのせいの高い眼がねをかけた人が 大きな櫓の形の模型を あちこち指さしながら さっきのままの高い声で みんなに説明しておりました				51×40
2-7	ふとブドリは すぐ眼の前に いつか見たことのあるおかしい形の小さな飛行船が 飛んでいるのを見つけました				51×66
2-8	今年の夏 雨といっしょに 硝酸アムモニアをみなさんの沼ばたけや蔬菜ばたけに 降らせませす				51×66
2-9	その年の六月 ブドリはイーハトーブのまん中にあるイーハトーブ火山の頂上の 小屋に居りました				51×66
2-10	ブドリはもう うれしくってはね上がりたいくらいでした この雲の下で みんなよろこんで 雨の音を聞いている				51×40
2-11	すっかり支度ができると ブドリはみんなを船で帰してしまって じぶんは一人島に 残りました				51×40
2-12	「どうだい ここは面白いかい」「面白いねえ」象がからだを斜めにして 眼を細くして返事した (オツベルと象)				51×66
2-13	象は朝からかせぐのだ わらも昨日はただ五把だ よくまあ 五把のわらなどで あんな力がでるもんだ (オツベルと象)				51×40
2-14	「ぼくはずいぶん眼にあっている みんなで出て来て助けてくれ」 童子はすぐに 手紙をもって 林の方へあるいて行った (オツベルと象)				51×40
2-15	間もなく地面はぐらぐらとゆられ そこらはばしやばしやくらくなり 象はやしきをとりまいた (オツベルと象)				51×66

番号	作品名	出版社	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
3	ガラスめだまときんのつののヤギ	福音館書店	1988(昭和63)年	紙・ペン・水彩・ 鉛筆・コラージュ	
3-1	ベラルーシ (白ロシア) の民話 『ガラスめだまときんのつののヤギ』 表紙 田中かな子・訳				39×46
3-2	あるところに おばあさんがいた				39×46
3-3	おばあさんは はたけを たがやして むぎを まいた				42×55
3-4	むぎは あおあおと しげり それはそれは おおきくなった				42×55
3-5	ヤギが むぎを くってはふんづけ くってはふんづけ はたけのなかを のっしのっしと あるいていた				42×56
3-6	おばあさんは かけよって こういった 「でていけたら でていけっ！ むぎばたけから でていけっ！」				42×57
3-7	「よけいなおせわだ おいぼればあさん！ おいらにや ガラスめだまと きんのつのがある ひとつきすれば いちころさ！」				40×88
3-8	クマに であった 「おばあさん かなしむことはないよ いこうじゃないか おいらが				40×88

	おいだしてやるから！」	
3-9	「なまいきいうない もじゃげのクマめ！ おいらにゃ ガラスめだまと きんのつのがある ひとつきすれば いちころさ！」	40×88
3-10	オオカミに であった 「おばあさん おいらが おいだしてやるから いこう！ おいらに ヤギを みせてみな」	40×88
3-11	「なまいきいうない おんぼろおっぼのオオカミめ！ おいらにゃ ガラスめだまと きんのつのがある ひとつきすれば いちころさ！」	40×88
3-12	キツネが かけてきた 「いきましょう わたしが ヤギを おいだしてみせるわ！」	40×88
3-13	「おせっかいするな ずるギツネめ！ おいらにゃ ガラスめだまと きんのつのがある ひとつきすれば いちころさ！」	40×88
3-14	ウサギが ぴよんぴよん とんできた 「ぼくが おばあさんを たすけてやるよ さあ いこう！」	40×88
3-15	「なまいきいうない あかめのウサギ！ おいらにゃ ガラスめだまと きんのつのがある ひとつきすれば いちころさ！」	40×88
3-16	ハチが とんできた 「おばあさん いこうよ ぼくに ヤギを みせてくれ」	40×88
3-17	ヤギの はなを チクリッ！ ヤギは メーメー なきだして――	40×88
3-18	にげだしていくではないか！ そして ゆくえも わからなくなってしまった	40×88
3-19	ヤギは おばあさんの むぎばたけに くることはなくなった	40×88
3-20	おばあさんは すえながく しあわせに くらしたということさ	42×55
3-21	おしまい	42×55

番号	作品名	出版社	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
4	空とぶトランク	小学館	2004(平成16)年	紙・ペン・色鉛筆	
4-1	ふしぎなトランクを手に入れた商人のむすこのお話。				44×33
4-2	しんせつな友だちが、古いトランクをくれました。でも、入れるものなんて、 なんにもありません。そこで男は、自分が中に入ることにしました。				39×55
4-3	これは、ふしぎなトランクでした。かぎをおすと、空中にとびあがるのです。 トランクはとびつづけて、やがて、トルコの国におりていきました。				39×55
4-4	おひめさまはびっくりして、目をさました。男はいいました。 「わたしはトルコの神さまです。空をとんで、あなたに会いに来たのです」				39×55
4-5	それから、男はいろいろ楽しいお話をすると、おひめさまに、結婚の 申し込みをしました。				39×55
4-6	男は、王さまとおきさきさま、おしろの人びとにあたたくむかえられました。				39×55
4-7	おきさきさまはいいました。「むすめをあなたにさしあげましょう」 「おう、そうとも。おまえと、わがむすめの結婚をゆるそう」王さまも、いいました。				39×55
4-8	男は、いろいろな花火をたくさん買くと、トランクにつんで空高くのぼっていきました。				39×55
4-9	男は地上にもどるとすぐ、町にでかけていきました。その間に、のこっていた 花火の粉がもえあがり、トランクはやけてしまいました。				39×55
4-10	おひめさまは、屋根の上で、おむこさんがとんでくるのを、じっとまっていた。 それからずっとずっと、今でもまっているということです。				39×55

番号	作品名	出版社	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
5	ガブリシ	ブッキング	2008(平成20)年	紙・ペン・水彩・ コラージュ	
5-1	よくあるところに ガブリシ という こぞうがいた				40×50
5-2	どんなやつだったか しってるかい？				40×50
5-3	あいつったら かみに えがいた ニンジンを うまに やってたって				40×50
5-4	みずを ふるいで くんでたって				40×50
5-5	とりに とびかたを おしえてたって				40×50
5-6	あめのひ はなに ぼうしを かぶせてたって				40×50

5-7	もりに たきぎを もってったって	40×50
5-8	おおゆきのひ はだかで たきびを してたって	40×50
5-9	はしってるバスの やねのうえに のってたって	40×50
5-10	ガブリシって そんなやつ！ どんなやつ？	40×50

番号	作品名	出版社	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
6	きゅうりさんあぶないよ	福音館書店	1998(平成10)年	紙・水彩	
6-1	『きゅうりさんあぶないよ』 表紙				38×28.5
6-3	きゅうりさん そっちへいったら あぶないよ ねずみがでるから				38×56
6-4	きゅうりさん そっちへいったら あぶないよ ねずみがでるから				38×57
6-5	きゅうりさん そっちへいったら あぶないよ ねずみがでるから				38×58
6-6	きゅうりさん そっちへいったら あぶないよ ねずみがでるから				38×59
6-7	きゅうりさん そっちへいったら あぶないよ ねずみがでるから				38×60
6-8	きゅうりさん そっちへいったら あぶないよ ねずみがでるから				38×61
6-9	きゅうりさん そっちへいったら あぶないよ ねずみがでるから				38×62
6-10	きゅうりさん そっちへいったら あぶないよ ねずみがでるから				38×63
6-11	きゅうりさん そっちへいったら あぶないよ ねずみがでるから				38×64
6-12					38×65
6-13	あぶない！！				38×66
6-14					38×28.5

番号	作品名	出版社	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
7	かぞえうたのほん	福音館書店	1990(平成2)年	紙・水彩・ コラージュ	
7-1	『かぞえうたのほん』 表紙 岸田衿子・作				40×33
7-2	「すうじさがしかぞえうた」				40×28
7-3	いちばでいぬが にわとりにらんだ さんまさかだち かしらんぷり ごきげんごりらに おどろくろばのこ				40×55
7-4	じゅうすをのんだ				40×28
7-5	「いーいーいーかぞえうた」 いっちゃんいじわるいーいーいー				40×28
7-6	に一ちゃんにかいでにやにやにや さんちゃんさらあらいさらさらさら よんちゃんよなかによたよたよた ごーちゃんごみばこごそごそ				40×55
7-7	ろくちゃんろっくでろれろれろー ななちゃんないしょばなしなーなー はっちゃんはないきはーはーはー				40×55
7-8	じゅっちゃんじてんしゃじりじりじり				40×28
7-9	「ひのたまかぞえうた」 ひとつひのたまひろったら				40×28
7-10	ふろばでふやけて ひのたまふたつ みけにみつきり ひのたまみつ よあけによろけて ひのたまよっつ いぬがいじめて ひのたまいつつ				40×55
7-11	むすめにむこきて ひのたまむつつ なみになでられ ひのたまななつ やまのやきばで ひのたまやっつ こだぬきころげて ひのたまここのつ				40×55
7-12	とおせんぼしたら ひのたまとお				40×28
7-13	「ききたいかぞえうた」 ひとつひよこはひっくりかえる？				40×28
7-14	ふたつふくろうふろばんするかな？ みつつみみずみみはある？ よっつよしきりよっぱらうかな？ いつつのししいがわるいかな？				40×55
7-15	むつつむつごろうにむしばあるかな？ ななつなきうさぎはなみだがでる？ ここのつこりすにこぶできるかな？				40×55
7-16	とおでとかげは とんぼをたべた？				40×28

番号	作品名	出版社	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
----	-----	-----	-----	-------	---------

8-1	『かさぶたってどんなぶた』 表紙	41×56
8-2	「あいうえおにぎり」 ねじめ 正一 あいうえおにぎり ペろっとたべて かきくけころっけ あつあつたべて	41×56
8-3	「おならうた」 谷川 俊太郎 いもくって ぶ くりくって ぼ すかして へ ごめんよ ば	41×56
8-4	「せみ」 有馬 敵 じぶん じぶん じぶん じかーん じかーん じかーん	41×56
8-5	「はやく」 藤富 保男 おきなさい はやく かおをあらいなさい はやく ごはんたべなさい	41×56
8-6	「とびばこ だんだん」 藤 哲生 とびばこ とべたぞ だんだん だん だんだん だんだんだん	41×56
8-7	「おちやのじかん」 島田 陽子 まいにちのむちゃ おいしいちゃ からだに めちゃめちゃいいちゃ のまなくちゃ	41×56
8-8	「がいらいごじてん」 まど・みちお ファッション = はっくしょん ア ラ モード = あら どうも	41×56
8-9	「か」 秋原 秀夫 なつに になると か くらく になると か ねむく になると か かゆく になると か	41×56
8-10	「だれか」 中江 俊夫 うちのまえでよるおそく だれか よよよよよよ	41×56
8-11	「かさぶたって どんなぶた」 山中 利子 かさぶたって どんなぶた ころんじゃってから	41×56
8-12	「たんぽぽ」 川崎 洋 たんぽぽが たくさん飛んでいく ひとつひとつ みんな名前があるんだ	41×56
8-13	「お経」 坂田 寛夫 電車 馬車 自動車 人力 車力 自転車	41×56
8-14	「けむしとくるみの木」 與田 準一 くるみの枝をのぼってく けむしのあゆみのおそいこと じ………… じ…………	41×56
8-15	「きのうのきんようび」 松岡 享子 きのうのきんようび きたのくにから きんいろのきかんしゃにのって	41×56
8-16	「ちょっと出かけてくるわ」 マイケル・ローゼン 谷川 俊太郎・訳 ちょっと出かけてくるわ どうして? お茶をのみに どうして?	41×56
8-17	「おにいちゃん おにになった」 岸田 衿子 おにいちゃん おにになった いもうと いもむしになった	41×56
8-18	「わかれのことば」 阪田 寛夫 にほんじんなら さよなら あめりかじんなら ぐっばい	41×56
8-19	「あけがたには」 藤井 貞和 夜汽車の中を風が吹いていました ふしぎな車内放送が風をつたって聞こえます	41×56

(ライブペインティング・立体作品等)

番号	作品名	備考(掲載誌等)	制作年	素材・技法	寸法(cm)
9-1	大千世界宇宙大爆裂	アッチコッチ ソッチの歌	2012(平成24)年	キャンバス・アクリルカラー ／ライブペインティング	170×170
9-2	セロ弾きのゴーシュ	※復興支援のため、 いわき市美術館でラ イブペインティング	2013(平成25)年	キャンバス・アクリルカラー ／ライブペインティング	180×540
9-3	魔法	大魔法画集	2005(平成17)年	キャンバス・アクリルカラー ／ライブペインティング	214×528
9-4	ドラゴンくん	アッチコッチ ソッチの歌	2008(平成20)年	キャンバス・アクリルカラー ／ライブペインティング	213×519

9-5	Hans Christian Andersen (アンデルセン)	大魔法画集	2002(平成14)年	キャンバス・アクリルカラー ／ライブペインティング	217×412
9-6	GYPSY (ジプシー) 娘	ア ッ チ コ ッ チ ソッチの歌	2012(平成24)年	キャンバス・アクリルカラー ／ライブペインティング	170×190
9-7	ヤッホーホイホー	講談社	2013(平成25)年	キャンバス・アクリルカラー ／ライブペインティング	150×180
9-8	魔法の村	大魔法画集	2004(平成16)年	キャンバス・アクリルカラー ／ライブペインティング	215×511
9-9	ドクロダンス	大魔法画集	2000(平成12)年	キャンバス・アクリルカラー ／ライブペインティング	204×472
9-10	魔女の決闘	大魔法画集	2003(平成15)年	キャンバス・アクリルカラー ／ライブペインティング	218×419
9-11	2008年の空とぶクジラ	ア ッ チ コ ッ チ ソッチの歌	2008(平成20)年	キャンバス・アクリルカラー ／ライブペインティング	213×519
9-12	船上パーティー	大魔法画集	2001(平成13)年	キャンバス・アクリルカラー ／ライブペインティング	213×462
9-13	略奪ジプシー	ア ッ チ コ ッ チ ソッチの歌	2011(平成23)年	キャンバス・アクリルカラー ／ライブペインティング	210×410
9-14	PARADICE (パラダイス)	大魔法画集	2005(平成17)年	キャンバス・アクリルカラー ／ライブペインティング	201×822
9-15	SYDNEY (シドニー)	大魔法画集	2006(平成18)年	キャンバス・アクリルカラー ／ライブペインティング	180×360
9-16	足長野郎たち		2014(平成26)年	キャンバス・アクリルカラー ／ライブペインティング	180×400
9-17	恋人達	大魔法画集	2002(平成14)年	キャンバス・アクリルカラー ／ライブペインティング	208×394
9-18	古代リンゴの樹	※秋田でのライブペ インティング作品	2017(平成29)年	キャンバス・アクリルカラー ／ライブペインティング	200×300
9-19	WILDER MANN (ワイルドマン)		2014(平成26)年	キャンバス・アクリルカラー ／ライブペインティング	180×400
10-1	お菓子の家		2007(平成19)年	段ボール、針金、アクリルカラー、他	53×42×15
10-2	オンボロ船		1995(平成7)年頃	段ボール、針金、アクリルカラー、他	85×32×55
10-3	ピンクガイコツちゃん		1994(平成6)年	段ボール、針金、アクリルカラー、他	230×85
10-4	ストレートトゥヘルくん		1994(平成6)年	段ボール、針金、アクリルカラー、他	190×85
10-5	ピンクガイコツくん		1994(平成6)年	段ボール、針金、アクリルカラー、他	280×82
その他	バティック(染色)	会場装飾用	—	布、染色	—
その他	万国旗(切り紙)	会場装飾用	—	紙、紐	—

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

- ・北鹿新聞 4/13
- ・秋田魁新報 4/20、4/21、4/22
- ・朝日新聞とうほくマリオン イベント情報
- ・『市報よこて』 4月1日号、4月15日号、5月15日号（表紙）
- ・『Kappo仙台闊歩』 4・5月号
- ・『月刊アンドナウ』 4月号、5月号
- ・『どあっぷ』 4月号
- ・『ブーケ』 4/19
- ・『Mari Mari』 vol.402、vol.410
- ・『take up』 5月号

- ・『あきたタウン情報』 5月号
- ・『rakra』 5・6月号

【テレビ・ラジオ】

- ・ABS秋田放送 4/21
- ・ABSラジオ 4/22
- ・エフエムユーとぴあ 5/15

【WEB】

- ・Walkerplus
- ・「るるぶcom」「るるぶNEWS」
- ・横手市Facebook
- ・白泉社「kodomoe」
- ・県公式Facebook、Twitter

ii. 特別展

平成29年度国立美術館巡回展 国立西洋美術館所蔵 ミューズ(芸術の女神)：まなざしの先の女性たち

会 期：2017(平成29)年7月15日(土)～9月18日(月・祝)【66日間】
主 催：国立西洋美術館
西洋美術館展実行委員会
(秋田魁新報社／ABS秋田放送／秋田県立近代美術館)
後 援：横手市／横手市教育委員会／東奥日報社／
岩手日報社／河北新報社／山形新聞／山形放送／
RAB青森放送／テレビ岩手／ミヤギテレビ／
横手かまくらFM／エフエムゆーとぴあ／FMはなび
担 当：奈良香、藤井正輝

国立西洋美術館のコレクションより「女性表象」に注目した。
「女性作家たち」「母と家族」「働く女性たち」「女性の裸体表現」
「アルカディアの女性たち」「恋愛・結婚—女と男の物語」
「魔性の女」「近代都市生活と女性」の8章で構成し、油彩40
点、版画47点、彫刻6点、工芸10点の計103点を紹介した。



※出品作は全て国立西洋美術館の所蔵・寄託。

No	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	備考
◆女性作家たち						
1	アンゲリカ・カウフマン	パリスを戦場へと誘う ヘクトール	1770年代	油彩、カンヴァス	81.4×112.1	
2	マリー＝ガブリエル・カペ	自画像	1783年頃	油彩、カンヴァス	77.5×59.5	
3	ヴィクトリア・デュブル (ファンタン＝ラトゥール)	花	不詳	油彩、カンヴァス	42.5×50.5	松方コレクション
4	シュザンヌ・ヴァラドン	体を拭く女たち	1895年	ソフトグラウンド ・エッチング	29.8×19.8 (画寸)	
5	マリー・ローランサン	イフィジェニー、あるいは3人の踊り子	1914年	エッチング	25.8×19.6 (画寸)	内藤満枝氏 より 寄贈
6	パウラ・モダーゾーン ＝ベッカー	鷺鳥番の女	1899-1900年	エッチング、アク アティント	25.6×20.4 (画寸)	
7	ケーテ・コルヴィッツ	(5):《蜂起》、 連作《農民戦争》より	1902/03年	エッチング、ドライポイン ト、アクアティント、布を 用いたソフトグラウンド・ エッチング	49.2×57.9 (画寸)	
◆母と家族						
No	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	備考
8	アルブレヒト・デューラー	梨の聖母子	1511年	エングレーヴィング	15.7×10.7 (画寸)	
9	オラツィオ・デ・サンク ティス	聖エリザベツと洗礼者聖 ヨハネをとまなう聖家族	1568年	エッチング、エン グレーヴィング	25×19.3 (画寸)	
10	パオロ・ヴェロネーゼ (本名パオロ・カリアーリ)	聖カタリナの神秘の結婚	1547年頃	油彩、カンヴァス	84×100	
11	ヤーコブ・ヨルダーンス	聖家族	1620年頃	油彩、カンヴァス	116×76	
12	カルロ・ドルチ	悲しみの聖母	1655年頃	油彩、カンヴァス	82.5×67	

13	ウジェーヌ・ドラクロワ	聖母の教育	1852年	油彩、カンヴァス	46×55.5	東京国立博物館 より管理換え
14	エミール＝アントワーン・ブールデル	わが子を捧げる聖母	1920年	ブロンズ	65×25×16	松方コレクション
15	ウジェーヌ・カリエール	母と子	不詳	油彩、カンヴァス	29.3×40.4	松方コレクション
16	モーリス・ドニ	花束を飾った食卓（マルト・ドニと二人の娘ベルナデット、アンヌ＝マリー）	1904年	油彩、カルトン	17.5×37.6	ドミニク・モーリス・ドニ氏より寄贈
17	レオン・オーギュスタン・レルミット	農民の家族	1918年頃	油彩、カンヴァス	46×38.5	松方コレクション
18	ジャン＝フランソワ・ミレー	《母の気づかい》、連作＜コロ、ドービニー、ドラクロワ、ミレー、ルソーによる40のクリシェ・グラス＞より	1862年（1921年出版）	クリシェ＝ヴェール（ガラス版画）	28.5×22.5（画寸）	
19	ケーテ・コルヴィッツ	失業	1909年（1918年の刷り）	エッチング、ドライポイント、アクアティント、サンドペーパー	38.2×53.5（画寸）	

◆魔性の女

No	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法（cm）	備考
20	ダフィット・テニールス（子）	聖アントニウスの誘惑	不詳	油彩、カンヴァス	80×110	
21	アンリ・ファンタン＝ラトゥール	聖アントニウスの誘惑	不詳	油彩、カンヴァス	63.5×83.5	松方コレクション
22	アルブレヒト・デューラー	魔女	1500年頃	エングレーヴィング	11.5×7.1（画寸）	
23	マルカントニオ・ライモンディ、アゴスティーノ・ヴェネツィアーノ	魔女の集会（ストレゴッツォ）	不詳	エングレーヴィング	30.6×64.6（紙寸）	
24	ヴェンデル・ディーターリン（原画）、マテウス・グロイター（版刻）	ヴィーナスの力	1587年	エングレーヴィング、エッチング	21×30.6（画寸）	
25	マールテン・ファン・ヘームスケルク（原画）、ウィレム・ファン・スワーネンブルフ（版刻）	《画架に向かう悪魔の右側に立つ髭のない若者》、連作＜世俗財産の悪用についての寓意＞より	1609年	エングレーヴィング	21.8×15.9（画寸）	
26	フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	(19)：《みんなひっかかるだろう》、連作＜ロス・カプリーチョス＞より	1799年	エッチング、アクアティント（一部掻き落とし）	21.9×14.5（版寸）	
27	フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	(17)：《ぴったりよ》、連作＜ロス・カプリーチョス＞より	1799年	エッチング、アクアティント（一部掻き落とし）、ドライポイント	21.8×15.3（版寸）	
28	フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	(68)：《美しき女教師》、連作＜ロス・カプリーチョス＞より	1799年	エッチング、アクアティント（一部掻き落とし）、ドライポイント	21.3×15（版寸）	
29	マックス・クリンガー	(3)：《蛇》、連作＜エヴァと未来＞より	1880年	エッチング、アクアティント	24.8×12.1（画寸）	
30	リュック・オリヴィエ・メルソン	サロメ	不詳	リトグラフ、手彩色	34.5×19（画寸）	
31	フェリシアン・ロップス	呪文	不詳	ソフトグラウンド・エッチング、ドライポイント	29.9×19（画寸）	
32	エドヴァルド・ムンク	ハルピュイア	1900年	リトグラフ	36.5×32（画寸）	
33	エドヴァルド・ムンク	ヴァンパイア	不詳	リトグラフ	38.7×55.2（画寸）	

◆恋愛・結婚——女と男の物語

No	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	備考
34	アブラハム・ブルーマールト (原画)、ヤン・サーンレダム (版刻)	《知恵の木の前のアダム とエヴァ》、連作<アダ ムとエヴァの物語>より	不詳	エングレーヴィング	27.4×19.6 (紙寸)	
35	ジョルジョ・ギージ	ヴィーナスとアドニス	1557年以降	エングレーヴィング	32.1×22.6 (紙寸)	
36	アルブレヒト・ アルトドルファー	森の中の恋人たち	1511年	エングレーヴィング	13.5×10 (紙寸)	
37	ヘンドリック・ホルツィウス (原画)、ヤン・サーンレダム (版刻)	《恋愛術を支配するヴィー ナス》、連作 <7つの惑 星の神々>より	1596年	エングレーヴィング	25.4×17.8 (紙寸)	
38	ジャン=アントワーヌ・ヴァトー (原画)、ジャン・モワロー(版刻)	ラ・ミュゼット	1714年頃	エッチング	40.3×53.7 (版寸)	
39	ニコラ・ランクレ	眠る羊飼女	1730年頃	油彩、カンヴァス (楕円形)	71×84.5	
40	アンリ=ジョセフ・アルピニー	風景	1865年?	油彩、カンヴァス	24×33.3	松方コレクション
41	リュシアン・シモン	婚礼	不詳	油彩、カンヴァス	112.3×151	松方コレクション
42	オノレ・ドーミエ	(7):《結婚して半年も すれば一心同体》、 連作<夫婦善哉>より	1839年	リトグラフ、新聞 用紙	37.1×26.3 (紙寸)	
43	オノレ・ドーミエ	(18):《なにが事務所で徹夜 よ、このウソツキ男! そんなこ とと言っても、ちゃらちゃらした 女どもとミュザールへ踊りに行 くんでしょうが!…》、 連作<夫婦善哉>より	1840年	リトグラフ、新聞 用紙	37.6×26.1 (紙寸)	
44	オノレ・ドーミエ	(25):《月の魔法》、 連作<夫婦善哉>より	1840年	リトグラフ、新聞 用紙	34.9×24.9 (紙寸)	
45	ハインリッヒ・フォーゲラー	愛	1896年	エッチング、アクア ティント	34×36.6 (画寸)	
46	マックス・クリンガー	(4):《誘惑》、 連作<ある生涯>より	1884年	エッチング、アクア ティント	38.5×17.9 (画寸)	
47	マックス・クリンガー	(5):《捨てられて》、 連作<ある生涯>より	1884年	エッチング、アクア ティント、二色刷	27×42.6 (画寸)	
48	マックス・クリンガー	(7):《ライヴァル》、 連作<ある生涯>より	1884年	エッチング、アク アティント	21.8×14.5 (画寸)	
49	オーギュスト・ロダン	接吻	1882-87年 頃(原型)	ブロンズ	87×51×55	松方コレクション
50	オーギュスト・ロダン	フギット・アモール (去りゆく愛)	1887年以前	ブロンズ	36×45×20	松方コレクション
51	不詳	ヴィーナスの凱旋	16世紀	サードニクス、金	2×2.6×2.4	橋本貫志氏 より 寄贈
52	不詳	愛の祭壇に花を捧げる ニンフ(ラブ・リング)	18世紀後半	ミニアチュール、 金	3.17×2.33 ×2.38	橋本貫志氏 より 寄贈
53	不詳	ギメル・フェデリング	16世紀後半	エナメル、金	0.8×2.7× 2.4	橋本貫志氏 より 寄贈
54	不詳	永遠の指輪	19世紀前半	ダイヤモンド、銀	0.5×2.3× 2.3	橋本貫志氏 より 寄贈
55	不詳	愛の結び目	ベゼルは1846 年、フープは 現代	ダイヤモンド、 金、銀	2×2.1×2.5	橋本貫志氏 より 寄贈

◆働く女性たち

No	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	備考
56	ベルナルド・カヴァッリーノ	ヘラクレスとオンファレ	1640年頃	油彩、カンヴァス	127×180.3	
57	バルトロメ・エステバン・ムリーリョ	聖フスタと聖ルフィーナ	1665-66年頃	油彩、カンヴァス	32×24	
58	ジャン=パティスト・シメオン・シャルダン(原画)、ベルナル・レビシエ(版刻)	女家庭教師	1739年	エッチング、エン グレーヴィング	37.4×27.2 (紙寸)	
59	ジャン=パティスト・シメオン・シャルダン(原画)、シャル=ニコラ・コシヤン(父)(版刻)	洗濯女	1739年	エッチング、エン グレーヴィング	28×31 (紙寸)	
60	ジョヴァンニ・セガントーニ	風笛を吹くブリアンツァの男たち	1883-85年頃	油彩、カンヴァス	107.2×192.2	旧松方コレクション
61	カミーユ・ピサロ	立ち話	1881年頃	油彩、カンヴァス	65.3×54	松方コレクション
62	カミーユ・ピサロ	ポントワーズの市場	1895年頃	リトグラフ、シン ・アプリケ	31.7×22.8 (画寸)	
63	ポール・セリュジエ	雨傘をさした飴売り女	1893年	リトグラフ	22.3×13.7 (画寸)	
64	ヤン・トーロップ	網を繕う人たち	1899年	ドライポイント	15.7×18.7 (画寸)	
65	アンリ=ジャン=ギヨーム・マルタン	習作	1920年	油彩、カンヴァス	81.5×63.3	松方コレクション
66	エドゥアール・ヴェイヤール	縫いものをするヴェイヤール夫人	1920年	油彩、カルトン	33.7×35.8	フジカワ画廊より寄贈

◆近代都市生活と女性

No	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	備考
67	クロード・モネ	エプト河の釣人たち	1887年	油彩、カンヴァス	81×100	寄託作品
68	エルネスト・ローラン	テラスの二人の婦人	1922年	油彩、カンヴァス	117.5×101.5	松方コレクション
69	ピエール=オーギュスト・ルノワール	風景の中の3人	1916年	油彩、カンヴァス	65.3×54.3	文化庁より管理換え
70	エドモン=フランソワ・アマン=ジャン	本を読む女たち	1922年	油彩、カンヴァス	131×98.5	松方コレクション
71	アンドレ・ドラン	ジャン・ルノワール夫人(カトリーヌ・エスラン)	1923年頃	油彩、カンヴァス	90.4×75.2	山本英子氏より寄贈
72	シャルル・コッテ	ムーラン=ルージュの女たち	1892年	油彩、カルトン	36.5×51	松方コレクション
73	ガストン・ラ・トゥーシュ	踊り子	不詳	油彩、カンヴァス	78×80.5	旧松方コレクション
74	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	マルセル・ランデの肖像	1895年	リトグラフ	35.7×27 (紙寸)	
75	ジュール・シェレ	フォリー・ベルジェールのポスター：ロイ・フラワー	1893年	リトグラフ	125×88.5	
76	アルフォンス・ミュシャ	「ロレンザッチオ」のポスター：サラ・ベルナール	1896年	リトグラフ	97×36	
77	ルネ・ラリック	葉のプリカジュール	1900年頃	真珠、ダイヤモンド、 エナメル、金	2.4×1.9× 2.4	橋本貫志氏より寄贈
78	リュシアン・ガイヤール	トンボのプリカジュール	1900年頃	エメラルド、エナメル、 金	2.9×2.1× 2.1	橋本貫志氏より寄贈
79	ジョルジュ・フーケ	真珠とエナメルの花	1900年頃	真珠、ダイヤモンド、 エナメル、金	2.2×2.2× 2.7	橋本貫志氏より寄贈
80	ルネ・ラリック	スカラベとパピルスの葉	1900年頃	ファイアンス、エナメル、 金	1.3×2×2.4	橋本貫志氏より寄贈
81	不詳	マーキーズ形の指輪	19世紀後半	ブラック・オパール、 ダイヤモンド、金、銀	3.3×2×2.8	橋本貫志氏より寄贈

◆アルカディアの女性たち

No	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	備考
82	ヘンドリック・ホルツィウス(原画)、ヤン・サーンレダム(版刻)	ディアナの二人のニンフ	不詳	エングレーヴィング	22×15.9 (版寸)	
83	クロード・ロラン (本名クロード・ジュレ)	時、アポロと四季	1662年	エッチング	19.7×25.6 (紙寸)	
84	クロード・ロラン (本名クロード・ジュレ)	踊るサテュロスとニンフのいる風景	1646年	油彩、カンヴァス	98×125	文化庁より 管理換え
85	ジョゼフ・ヴェルネ	夏の夕べ、イタリア風景	1773年	油彩、カンヴァス	89×133	
86	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	ナポリの浜の思い出	1870-72年	油彩、カンヴァス	175×84	
87	ラファエル・コラン	詩	1899年	油彩、カンヴァス	217×135	
88	ラファエル・コラン	楽	1899年	油彩、カンヴァス	210×135	
89	モーリス・ドニ	水浴	1920年	油彩、カンヴァス	116×120.2	松方コレクション

◆女性の裸体表現

No	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	備考
90	ゼーバルト・ベーハム	パリスの審判	1546年	エングレーヴィング	6.9×4.7 (画寸)	
91	モノグラミストM	虚栄と死	16世紀	エングレーヴィング	35.6×25.1 (画寸)	
92	グイド・レーニ	ルクレティア	1636-38年頃	油彩、カンヴァス	101.5×82	
93	ウィリアム・アドルフ・ブーグロー	音楽	1855-56年頃	油彩、カンヴァス	116×172	
94	ギュスターヴ・クールベ	もの思うジブシー女	1869年	油彩、カンヴァス	50.3×61	松方コレクション
95	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	坐る裸婦	1918年以前	油彩、カンヴァス	32.8×33.8	
96	ピエール＝アルベール・マルケ	坐る裸婦	1912年	油彩、カンヴァス	73×60.5	松方コレクション
97	シャルル・コッテ	裸婦	不詳	油彩、カンヴァス	188×87	松方コレクション
98	アンリ・マティス	マグノリアのあるオダリスク	1923年	リトグラフ、和紙	30×40.2 (画寸)	
99	パブロ・ピカソ	3人の浴女	1922-23年	ドライポイント	17.9×13 (画寸)	
100	パブロ・ピカソ	1968年3月29日 I	1968年	エッチング、ドライポイント	41.5×31.2 (版寸)	
101	オーギュスト・ロダン	美しかりしオーミエール	1885-87年 (原型)	ブロンズ	50×31×24	松方コレクション
102	オーギュスト・ロダン	化粧するヴィーナス	1890年頃	ブロンズ	47×27×21	松方コレクション
103	アリスティード・マイヨール	ヴィーナスのトルソ	1925年	ブロンズ	114×47×30	

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

- ・秋田魁新報 1/3、6/18、6/27、7/10～14、8/10、8/11、8/23、8/24、8/26、8/30、9/9
- ・福島民報 4/21、6/12
- ・北鹿新聞 7/13
- ・聖教新聞東北版 7/31、8/31
- ・岩手日報 8/10
- ・東奥日報 8/11
- ・『Bouquet』 6/21
- ・『take up!』 6月号 (Vol. 148)

- ・『Mari Mari』 7/7
- ・『市報よこて』 7/15、8/1
- ・『あっぷる』 7/23 (8月号)
- ・『アートコレクターズ』 7月号
- ・『広報おおだて』 7月号
- ・『芸術新潮』 7月号
- ・『rakra』 7・8月号
- ・『月刊アンドナウ』 7月号、8月号
- ・『どあっぷ』 7月号、8月号
- ・『美術の窓』 8月号
- ・『月刊美術』 8月号
- ・『博物館研究』 8月号
- ・『GALLERY』 8月号

【WEB】

- ・インターネットミュージアム 6/2～会期終了
- ・Walker Plus 6/12～会期終了

iii. 特別展

Ippin! 逸品 明治工芸の至宝展

会 期：2017(平成29)年9月23日(土・祝)～11月26日(日)【65日間】
主 催：明治工芸の至宝展実行委員会
(秋田魁新報社、秋田県立近代美術館)
特別協力：東京国立博物館
協 力：京都国立近代美術館、清水三年坂美術館
後 援：横手市／横手市教育委員会／NHK秋田放送局／
ABS秋田放送／AKT秋田テレビ／AAB秋田朝日放送／
エフエム秋田／横手かまくらFM／エフエムゆーとぴあ／
FMはなび
担 当：保泉 充、鈴木 京

明治期に極めて高い技術により制作された工芸品の展覧会。当時、その多くが海外へと輸出され高い評価を得たが、残念なことに日本国内では次第に忘れ去られた。近年、これら工芸品の展覧会が開催され、テレビや雑誌等で紹介されるなど注目を集めている。

本展では、清水三年坂美術館、京都国立近代美術館、東京国立博物館から、七宝、金工、漆工、彫刻、刺繍など幅広い分野から精選した108点をお借りし展示した。改めて日本人が持つ技術の高さを認識した展覧会となった。



第1展示室

No.	作者	作品名	制作年代	寸法 (cm)	所蔵先
1	村上(凌雲)盛之	銀冬瓜大香炉 金虫添	明治末	高26.0 / 金虫長8.5	清水三年坂美術館
薩摩					
2	藪明山	鶴花人物図花瓶(一对)	明治	31.0×13.0	清水三年坂美術館
3	藪明山	祇園祭図花瓶	明治	高22.0	清水三年坂美術館
4	中村煤溪	大名行列図輪花鉢	明治	14.2×5.5	清水三年坂美術館
5	錦光山宗兵衛	花見図花瓶	明治	高31.5	清水三年坂美術館
6	司山	組輪文茶碗	明治	11.2×6.0	清水三年坂美術館
7	陽山	浦島太郎図貝合(一对)	明治	14.0×10.0×6.0	清水三年坂美術館
8	(作者不詳)	浮彫香炉	明治	14.0×口径10.0	清水三年坂美術館
9	錦光山宗兵衛	菊唐草文ティーセット	明治	盆36.0×3.9 / ティーポット16.5×12.8 / シュガーポット10.5×10.5 / ミルクポット10.5×11.5 / ソーサー3.7×2.3 / カップ10.0×4.8	清水三年坂美術館
10	錦光山	花鳥図花瓶	明治	高40.0	清水三年坂美術館
七宝					
11	並河靖之	蝶に花唐草文水注	明治	10.0×11.5×7.5	京都国立近代美術館
12	(作者不詳)	四季五窓花鳥図七宝花瓶	明治一大正	24.0×12.0	京都国立近代美術館
13	安藤七宝店(林喜兵衛)	花鳥図大花瓶(一对)	明治後期	高92.0	清水三年坂美術館
14	川出柴太郎	檜に鳥蟬図花瓶(一对)	明治	44.8×19.0	清水三年坂美術館
15	(作者不詳)	藤雀図花瓶	明治	37.5×口径10.1	清水三年坂美術館
16	濤川惣助	藤図花瓶	明治	30.6×12.6	京都国立近代美術館
17	糸野締太郎	蝶尽し香合	明治	7.0×9.0×3.7	清水三年坂美術館

18	並河靖之	花蝶図香合	明治	2.9×6.2	清水三年坂美術館
19	林小伝治	秋草図香合	明治	—	清水三年坂美術館
20	(作者不詳)	菊尽し香炉	明治	—	清水三年坂美術館
21	濤川惣助	菖蒲図盆	明治36年頃	—	清水三年坂美術館

陶磁

22	三浦乾也	鷺鳥図嵌入額	明治19(1886)	121.2×75.8	東京国立博物館
23	竹内忠兵衛	七宝竹雀文大瓶	明治25(1892)	53.3×口径18.5×底径17.9	東京国立博物館
24	帶山与兵衛	色絵金欄手花鳥文大瓶	明治	—	東京国立博物館
25	初代 宮川香山	黄釉錆絵梅樹図大瓶	明治25(1892)	52.1×25.8×口径14.5×底径10.7	東京国立博物館

第2展示室

No.	作者	作品名	制作年代	寸法 (cm)	所蔵先
-----	----	-----	------	---------	-----

刀装具

26	後藤光乗 / 柴田是真	溜塗蝶蒔絵合口拵 ※No. 26は、所蔵館の都合により展示なし。	幕末－明治	長26.5	清水三年坂美術館
27	加納夏雄	蓮池に川蟬図鐔	幕末－明治	巾6.9	清水三年坂美術館
28	加納夏雄	金無垢 雪華文目貫	幕末－明治	各巾3.8	清水三年坂美術館
29	正阿弥勝義	日月鳥兎目貫	明治	各長5.0 / 4.9	清水三年坂美術館
30	(作者不詳)	秋草虫・屏風 扇面散鐔	幕末－明治	大8.1 × 7.9 × 0.4 小7.7 × 7.5 × 0.4	清水三年坂美術館
31	三代 石黒政美	牡丹に孔雀図 大小	江戸後期	大8.1 × 7.5 × 1.5 小7.7 × 7.1 × 1.5	清水三年坂美術館
32	柴田是真	秋草図脇差拵	幕末－明治	長58.0	清水三年坂美術館
33	後藤一乗	孝明天皇御料御太刀拵	弘化3(1846)－ 慶応2(1867)	長93.0	清水三年坂美術館
34	正阿弥勝義	青貝微塵塗鞘合口拵	幕末－明治	長45.0	清水三年坂美術館
35	松木豊慶	児島高德図堆朱柄・ 鞘 桜図銀金具合口拵	明治	—	清水三年坂美術館

金工

36	晴水	鷹置物	明治	高21.0(架・高66.0)	清水三年坂美術館
37	(作者不詳)	楼閣置物	明治	高46.0	清水三年坂美術館
38	親春	麒麟図香炉	明治	高40.2	清水三年坂美術館
39	駒井	人物図大飾皿	明治	径40.0	清水三年坂美術館
40	長谷川一清	孔雀置物	明治	雄:高17.5 / 雌: 高13.5	清水三年坂美術館
41	鹿島一谷	花鳥図香炉	明治	高25.0	清水三年坂美術館
42	海野勝珉	山水図硯屏	明治	高16.0	清水三年坂美術館
43	起立工商会社	銀製鶴亀香炉	明治	高23.0	清水三年坂美術館
44	海野美盛	御紋章付山水図銀花瓶(一对)	明治	高35.0	清水三年坂美術館
45	香川勝廣	菊図花瓶	明治	高40.0	清水三年坂美術館
46	塚田秀鏡	金製香炉	明治	—	清水三年坂美術館
47	黒瀬宗世	鉄打出 双吊置物	明治－大正	11.5×29.0×21.6	清水三年坂美術館
48	海野勝珉	蘭陵王置物	明治	高42.7	清水三年坂美術館
49	雪峰英友	菊尽し香炉	明治後期	12.5×6.0	清水三年坂美術館
50	正阿弥勝義	小倉色紙図硯箱	明治	—	清水三年坂美術館
51	加納夏雄	群鷺図額	明治25(1892)	39.4×19.7	東京国立博物館
52	海野勝珉	還城楽図額	明治25(1892)	37.9×25.5	東京国立博物館
53	正阿弥勝義	鯉鯪対花瓶	明治	鯉32.3×24.1×25.9 鯪31.2×22.4×27.1	京都国立近代美術館
54	正阿弥勝義	瓢箪に天道虫花瓶	明治33(1900)	22.0×10.0	京都国立近代美術館
55	川原林秀国	瓜形香炉	明治23(1890)	9.5×12.0×10.0	京都国立近代美術館

56	正阿弥勝義	柘榴に蟬飾器	明治	12.5×11.5×11.0	京都国立近代美術館
57	正阿弥勝義	蓮葉に蛙皿	明治	4.5×13.0×11.0	京都国立近代美術館
58	鈴木美彦	引舟図花瓶	明治－大正	40.0×24.1	京都国立近代美術館

第3展示室

No.	作者	作品名	制作年代	寸法 (cm)	所蔵先
刺繍					
59	(作者不詳)	花鳥図	明治－大正	各133.3×57.5	京都国立近代美術館
60	(作者不詳)	瀑布図刺繍額	明治－大正	73.5×52.0	清水三年坂美術館
61	(作者不詳)	鳳凰図刺繍壁掛	明治－大正	198.0×129.0	清水三年坂美術館
62	(作者不詳) 依頼・飯田新七	雪中蒼鷹図	1890年代中頃	137.5×64.0	京都国立近代美術館
63	竹内栖鳳	雪中蒼鷹図(刺繍原画)	明治28(1895)	123.5×54.5	京都国立近代美術館
64	(作者不詳)	赤啄木鳥図刺繍額	明治－大正	73.0×37.5	清水三年坂美術館
65	(作者不詳)	獅子図	1900年代前半	46.8×63.0	京都国立近代美術館

※No. 60～62は9月23日(土・祝)～10月25日(水)、No. 63～66は10月26日(木)～11月26日(日)の展示。

蒔絵

66	(作者不詳) 芝山細工	鐺に煙管図提筆筭	明治	25.5×20.0×23.0	京都国立近代美術館
67	白山松哉 / 守屋松亭	猩々置物	大正	壺：13.2×9.7、 猩々：高8.0	清水三年坂美術館
68	池田泰真 / 海野勝珉	海邊平和の意 沈香棚	明治後期	32.0×36.2×20.7	清水三年坂美術館
69	(作者不詳)	四季草花図棚	明治	80.0×90.0×43.5	清水三年坂美術館
70	白山松哉	四君子図料紙箱	明治37(1904)	42.0×32.5×15.2	清水三年坂美術館
71	白山松哉	菊寄香合	明治	径4.8	清水三年坂美術館

※No. 67「鐺に煙管図提筆筭」は9月23日(土・祝)～10月25日(水)の展示。

牙彫・木彫

72	山崎和沾	鳴獺置物	明治－大正	高19.0 / 網長44.0 / 木長48.0	清水三年坂美術館
73	相馬邦之助	牙彫婦人小児像	明治25(1892)	—	東京国立博物館
74	田中一秋	花鳥図額(一対)	明治－大正	21.1×17.7 / 21.2×18.0	清水三年坂美術館
75	指物：前田南斎 彫嵌：木内省古	齊墩樹(ちしゃのき)図衝立/萩流水図	昭和15年頃	120.0×114.0	清水三年坂美術館
76	旭玉山	葛に蛛網手文庫	明治後期	12.0×28.0×37.5	清水三年坂美術館
77	高村光雲	翁舞	昭和7年	31.0×15.0×11.0	清水三年坂美術館
78	高村光雲	法師狸	明治－昭和	28.0×29.0×17.0	清水三年坂美術館
79	大内玉藻	落花生	明治－昭和	1.8×4.2×1.2	清水三年坂美術館
80	森田藻己	空豆	明治－昭和	1.7×3.7×2.8	清水三年坂美術館
81	森田藻己	巴瓦に蝙蝠	明治－昭和	4.0×2.6×2.2	清水三年坂美術館
82	柴田是真	葛蠶螂根付	幕末－明治	長16.5	清水三年坂美術館
83	安藤緑山	蜜柑	大正－昭和	5.5×7.5 / 5.0×6.5 / 5.5×7.5	京都国立近代美術館

自在

84	(作者不詳)	手長海老	明治	長23.5	清水三年坂美術館
85	高瀬好山	兜虫	大正－昭和初期	4.0×6.9×6.1	京都国立近代美術館
86	高瀬好山	鯉	明治－大正	11.3×32.7×11.4	京都国立近代美術館
87	龍明	龍	明治－大正	長80.2	清水三年坂美術館
88	宗義	蜻蛉	明治－大正	長8.5	清水三年坂美術館
89	(作者不詳)	伊勢海老	大正	33.0×18.0×10.5	清水三年坂美術館
90	(作者不詳)	龍	江戸－明治	10.9×27.0×7.5	京都国立近代美術館
91	高瀬好山	蠶螂	大正－昭和初期	5.5×16.6×4.7	京都国立近代美術館
92	高瀬好山	伊勢海老	明治－大正	長24.0 (最長40.0)	清水三年坂美術館

第4展示室

No.	作者	作品名	制作年代	寸法 (cm)	所蔵先
牙彫					
93	(作者不詳)	弁慶蟹	明治	各9.0×5.0×3.5	清水三年坂美術館
94	安藤緑山	柘榴	明治一昭和	6.5×14.5×11.5	清水三年坂美術館
95	安藤緑山	瑞祥(霊芝、蝸牛)	明治一昭和	8.0×21.5×15.5	清水三年坂美術館
96	安藤緑山	三茄子(茄子)	明治一昭和	19.5×15.7×11.5	清水三年坂美術館
印籠・煙草入れ					
97	小川破笠	梵鐘型印籠 / 根付：堆黒酒瓢	江戸中期	10.3×6.5×2.5 / 根付5.5	清水三年坂美術館
98	田中一秋	花菱七宝紋印籠	明治一大正	6.8×5.0×2.0	清水三年坂美術館
99	田中一秋	花丸紋印籠 根付：蝶	明治一大正	5.2×3.6×1.7	清水三年坂美術館
100	前金具：伝 正阿弥勝義 筒：柴田是真	腰差煙草入 / 煙管筒：蒲公英、 前金具：蝶	明治	筒：長20.5 / 前金具：幅2.2 / 袋13.1×6.7×1.7	清水三年坂美術館
101	前金具：香川勝廣 筒：貞宗	紫革腰差煙草入 / 前金具：桜に小禽、 筒：葛図、 緒締：珊瑚	明治	筒：長22.0 / 前金具：幅3.7 / 袋7.3×12.2×2.0 / 緒締：径1.3	清水三年坂美術館
102	加納夏雄	秋草狸図印籠	幕末一明治	印籠7.8 / 根付4.5/ 緒締1.5	清水三年坂美術館
103	柴田是真	雲に蝶図とんこつ	明治	6.8×6.3×2.7	清水三年坂美術館
104	野原貞明	葛に飛蝗図煙管筒	明治一大正	長21.5	清水三年坂美術館
105	貞宗	柳に蛙図煙管筒	明治	長21.0	清水三年坂美術館
106	石川光明	鹿図煙管筒	明治	長23.3	清水三年坂美術館
撮影コーナー					
107	七代 錦光山宗兵衛	色絵金欄手双鳳文飾壺	明治25(1892)	46.4×口径23.2× 鈕高12.4	東京国立博物館
108	石川光明	蓮根に蛙	明治	8.0×31.3×12.7	京都国立近代美術館

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

- ・秋田魁新報 9/13、9/24、9/28、10/4、10/11、10/18、10/26、10/31、11/1、11/8
- ・『月刊アンドナウ』 10月号、11月号
- ・『クルール』 10月号
- ・『どあっぷ』 10月号、11月号
- ・『あっぷる』 10月号

iv. 特別展

生誕100年 千葉禎介写真展

会 期：2017(平成29)年12月2日(土)～2018(平成30)年1月31日(水)
【48日間】

【休館】2017(平成29)年12月29日(金)～31日(日)、
2018(平成30)年1月9日(火)～18日(木)

主 催：秋田県立近代美術館

共 催：ABS秋田放送

後 援：横手市／横手市教育委員会／秋田魁新報社／河北新報社／
朝日新聞秋田総局／毎日新聞秋田支局／読売新聞秋田支局／
産経新聞社秋田支局／NHK秋田放送局／AKT秋田テレビ／
AAB秋田朝日放送／エフエム秋田／横手かまくらFM／
エフエムゆーとぴあ／FMはなび

助 成：芸術文化振興基金

担 当：鈴木京、小林紀子

横手市で活動を続けた写真家・千葉禎介の生誕100年を記念して、当館所蔵の千葉作品を中心に展示した。その写歴の全体像を紹介するとともに、秋田市立千秋美術館などから関連写真家の作品も借用し、千葉の人物像を俯瞰的に紹介した。本展ではあわせて、芸術文化振興基金の助成金を受けて千葉の作品125点を掲載した図録を発行、また、関連イベントでは、宮城県美術館副館長・三上満良氏をお招きした講演会を開催し、どちらも来場者から好評を得ることができた。千葉作品が今なお人を惹きつけてやまないこと、地域の方々がこうした機会を待望していたことが実感された。



1. 1940年代—造形美を求めて

No	作品名	作家名	撮影年	撮影地	寸法 (cm)	所蔵	備考
1	車内ヨリ	千葉禎介	1937(昭和12)年	東京	15.7×11.0	個人蔵	県南アマチュアコンクール入選1937年
2	食堂ニテ	千葉禎介	1937(昭和12)年	東京	10.7×15.4	個人蔵	アマチュアコンクール準特選三席1937年
3	(消沈)	千葉禎介	1940年代	撮影地不詳	22.3×28.9	当館蔵	
4	(子供たち)	千葉禎介	1940(昭和15)年頃	平鹿郡	25.5×30.3	当館蔵	
5	(西瓜)	千葉禎介	1940年代	撮影地不詳	25.4×30.4	当館蔵	
6	(子供たち)	千葉禎介	1940年代	撮影地不詳	17.2×29.9	当館蔵	
7	雪の秋田	千葉禎介	1941(昭和16)年頃	大雄村	22.4×29.1	当館蔵	『日本写真年鑑 昭和17年版』
8	雀追い	千葉禎介	1943(昭和18)年頃	大雄村狐塚	22.4×28.8	当館蔵	『アサヒカメラ年鑑 1967年版』
9	春耕	千葉禎介	1948(昭和23)年頃	金沢西根村	20.9×29.0	当館蔵	
10	初冬	千葉禎介	1947(昭和22)年	平鹿郡	25.0×30.2	当館蔵	
11	晴れた朝	千葉禎介	1947(昭和22)年	平鹿郡	25.4×30.5	当館寄託品	※リプリント
12	工事場	千葉禎介	1940年代	撮影地不詳	29.5×23.9	当館蔵	
13	休日	千葉禎介	1947(昭和22)年	横手町	25.0×30.3	当館蔵	『アルス写真年鑑 1948年版』
14	(店先)	千葉禎介	1940年代	平鹿郡	25.3×30.4	当館蔵	『特集カメラ アマチュア撮影読本』1949年
15	雪國風俗 (秋田地方)	千葉禎介	1948(昭和23)年頃	横手町	25.2×30.2	当館蔵	『特集カメラ アマチュア撮影読本』1949年

16	かまくら	千葉禎介	1947(昭和22)年頃	横手町	25.1×30.0	当館蔵	第二回日本観光写真コンクール特選1947年
17	夕陽	千葉禎介	1949(昭和24)年	撮影地不詳	29.8×24.8	当館蔵	
18	村の男達	千葉禎介	1949(昭和24)年	平鹿郡	25.1×30.3	当館蔵	
19	村の乙女たち	千葉禎介	1949(昭和24)年	平鹿郡	25.4×30.4	当館蔵	
20	樂屋にて	千葉禎介	1940年代	撮影地不詳	28.6×25.3	当館蔵	
21	冬の夜	千葉禎介	1949(昭和24)年	大雄村田根森	30.4×25.3	当館蔵	『アサヒカメラ年鑑1952年版』
22	石炭を背負う女 (A)	千葉禎介	1940年代	撮影地不詳	22.2×26.8	当館蔵	
23	石炭を背負う女 (B)	千葉禎介	1940年代	撮影地不詳	29.0×24.3	当館蔵	
24	春長閑	千葉禎介	1940年代	撮影地不詳	27.7×22.2	当館蔵	
25	(午睡)	千葉禎介	1940年代	撮影地不詳	30.2×25.4	当館蔵	
26	(農婦)	千葉禎介	1950(昭和25)年頃	平鹿郡	30.4×25.2	当館蔵	
27	晩夏	千葉禎介	1949(昭和24)年	撮影地不詳	24.8×30.0	当館蔵	
28	(布団干し)	千葉禎介	1940-1950年代初め	撮影地不詳	20.9×30.7	当館蔵	
29	(市場)	千葉禎介	1949(昭和24)年頃	横手町	25.5×30.4	当館蔵	
30	炉端	千葉禎介	1950(昭和25)年頃	撮影地不詳	25.0×29.8	当館蔵	

2. 1950年代前半—リアリズムとの出会い

No	作品名	作家名	撮影年	撮影地	備考	所蔵	備考
31	一隅	千葉禎介	1950(昭和25)年	平鹿郡	30.4×20.7	当館蔵	
32	秋田の乙女	千葉禎介	1950(昭和25)年	大雄村田根森	25.0×30.4	当館蔵	
33	私の家の物干場	千葉禎介	1950(昭和25)年	横手町	22.4×30.3	当館蔵	
34	(横手の景色)	千葉禎介	1950年代	横手町大町	25.5×30.3	当館寄託品	
35	雪晴れ	千葉禎介	1950(昭和25)年頃	横手町七軒町	30.4×25.4	当館蔵	
36	とり入れ	千葉禎介	1950年代	仙北郡	30.3×21.2	当館蔵	
37	農夫	千葉禎介	1950(昭和25)年	平鹿郡	30.2×26.2	当館寄託品	※リプリント
38	春さん	千葉禎介	1950-54(昭和25-29)年	大雄村	25.3×30.5	当館蔵	
39	石切場	千葉禎介	1950(昭和25)年頃	撮影地不詳	30.5×25.1	当館寄託品	
40	市場の花売り	千葉禎介	1950(昭和25)年頃	横手町	25.5×31.0	当館蔵	
41	松を売る市	千葉禎介	1951(昭和26)年	撮影地不詳	30.5×25.5	当館蔵	
42	(風景)	千葉禎介	1951(昭和26)年頃	撮影地不詳	20.6×30.5	当館蔵	※リプリント
43	たそがれ	千葉禎介	1951(昭和26)年	横手市	28.9×20.1	当館蔵	
44	妻	千葉禎介	1951(昭和26)年	横手市七軒町	25.1×20.1	当館寄託品	『アサヒカメラ』1951年7月号 ※リプリント
45	妻	千葉禎介	1951(昭和26)年	横手市七軒町	19.2×15.3	当館蔵	
46	家路	千葉禎介	1952(昭和27)年	横手市七軒町	30.2×25.0	当館蔵	
47	ある人生	千葉禎介	1951(昭和26)年	横手市七軒町	25.0×20.0	当館蔵	『アルス写真年鑑1952年版』
48	吹雪く日の馬	千葉禎介	1952(昭和27)年	横手市	31.0×25.5	当館蔵	『カメラ』1952年6月号
49	鯉売り	千葉禎介	1952(昭和27)年	横手市	30.6×25.5	当館蔵	『カメラ』1952年12月号
50	(停車場)	千葉禎介	1952(昭和27)年	横手駅	25.7×31.2	当館蔵	
51	語らい	千葉禎介	1952(昭和27)年頃	大雄村田根森	25.2×29.9	当館蔵	
52	農夫	千葉禎介	1952(昭和27)年	平鹿郡	29.5×21.2	当館蔵	『写真サロン』1952年10月号
53	晩秋	千葉禎介	1952(昭和27)年頃	撮影地不詳	30.1×25.2	当館蔵	
54	初雪	千葉禎介	1952(昭和27)年	横手市	30.4×24.8	当館蔵	
55	朝市の人	千葉禎介	1953(昭和28)年	横手市四日町	25.0×30.6	当館蔵	『アルス写真年鑑1953年版』

56	素朴な市	千葉禎介	1952(昭和27)年頃	横手市	30.6×25.0	当館蔵
57	雪の日	千葉禎介	1950年代	横手市	30.6×25.2	当館蔵
58	(雑貨屋)	千葉禎介	1950年代	雄物川町大沢	25.5×31.0	当館蔵
59	(風景)	千葉禎介	1955(昭和30)年頃	平鹿郡	20.6×30.6	当館蔵
60	(風景)	千葉禎介	1955(昭和30)年頃	平鹿郡	20.8×30.6	当館蔵

3. 1950年代後半～65年—農村ルポルタージュへの道

No	作品名	作家名	撮影年	撮影地	寸法(cm)	所蔵	備考
61	(湯治場)	千葉禎介	1955(昭和30)年頃	撮影地不詳	20.5×30.4	当館蔵	
62	(湯治場 黒湯)	千葉禎介	1955(昭和30)年頃	仙北郡田沢湖町	20.9×30.6	当館蔵	
63	(湯治場 後生掛)	千葉禎介	1955(昭和30)年頃	鹿角市八幡平	20.5×30.7	当館蔵	
64	梵天	千葉禎介	1956(昭和31)年	横手市	30.6×21.5	当館蔵	
65	母と子	千葉禎介	1950年代	仙北郡	27.4×18.8	当館蔵	
66	(母と子)	千葉禎介	1950年代	仙北郡	26.9×18.2	当館蔵	
67	日向	千葉禎介	1955-60(昭和30-35)年	撮影地不詳	20.0×30.2	当館蔵	
68	嫁ぐ日	千葉禎介	1956(昭和31)年頃	大雄村田根森	18.8×28.1	当館蔵	『日本カメラ』 1957年4月号
69	豊作の顔	千葉禎介	1958(昭和33)年	平鹿町醍醐	20.3×29.9	当館蔵	『日本カメラ』 1959年5月号
70	農民の顔	千葉禎介	1950年代	不詳	18.7×28.0	当館寄託品	
71	収穫	千葉禎介	1958(昭和33)年	平鹿郡	30.5×20.9	当館蔵	
72	冬の作業場	千葉禎介	1958(昭和33)年	平鹿郡	30.3×21.2	当館蔵	
73	納屋	千葉禎介	1955-65(昭和30-40)年	平鹿郡	30.5×21.2	当館蔵	
74	(餅つき)	千葉禎介	1960(昭和35)年	六郷町	左27.7×18.3 右28.0×18.6	当館蔵	
75	(農家の嫁)	千葉禎介	1960(昭和35)年頃	平鹿郡	18.4×27.6	当館蔵	
76	村の子供たち	千葉禎介	1961(昭和36)年頃	山内村	20.4×30.9	当館蔵	『カメラ毎日』 1961年12月号
77	(かまくら)	千葉禎介	1955-65(昭和30-40)年	横手市	25.2×20.3	当館蔵	
78	マント	千葉禎介	1960(昭和35)年	岩手県西和賀 郡湯田町	30.4×20.9	当館蔵	
79	雪国風景	千葉禎介	1960(昭和35)年頃	撮影地不詳	19.8×30.0	当館蔵	
80	雪割り	千葉禎介	1958(昭和33)年	横手市	18.1×27.6	当館蔵	
81	雪国	千葉禎介	1959(昭和34)年頃	横手市	25.5×31.0	当館蔵	
82	梵天祭	千葉禎介	1963(昭和38)年	横手市	20.6×30.4	当館蔵	『アサヒカメラ年鑑 1964年版』
83	雪国の市	千葉禎介	1963(昭和38)年	横手市四日町	20.4×30.5	当館蔵	
84	新らしい耕耘機	千葉禎介	1950年代	撮影地不詳	30.1×20.7	当館蔵	
85	(機械化耕作)	千葉禎介	1955-65(昭和30-40)年	平鹿郡	27.0×18.2	当館蔵	
86	田植前 境町方面 (1)	千葉禎介	1955-65(昭和30-40)年	横手市境町	27.1×18.0	当館蔵	
87	空中散布	千葉禎介	1964-65(昭和39-40)年頃	十文字町	27.0×18.0	当館寄託品	
88	種苗交換会の 農機具会場	千葉禎介	1963(昭和38)年	本荘市	18.2×27.8	当館寄託品	
89	(若者)	千葉禎介	1964-65(昭和39-40)年頃	仙北郡神岡町	19.0×28.2	当館寄託品	
90	機械化農業	千葉禎介	1964-65(昭和39-40)年頃	仙北郡神岡町	19.0×28.2	当館寄託品	
91	だんらん	千葉禎介	1963(昭和38)年	横手市境町	27.8×18.7	当館蔵	
92	晝食	千葉禎介	1960年代	撮影地不詳	21.8×30.6	当館蔵	
93	主婦のつどい	千葉禎介	1964(昭和39)年	羽後町三輪	27.2×18.4	当館寄託品	
94	農民民謡体操	千葉禎介	1964(昭和39)年	横手市間明田	18.3×27.0	当館蔵	
95	冬山の運材 (三)	千葉禎介	1960年代	撮影地不詳	22.0×30.4	当館寄託品	
96	若木採り	千葉禎介	1960(昭和35)年頃	山内村	20.5×30.5	当館蔵	

97	給食センター 学校給食	千葉禎介	1964(昭和39)年	大雄村	18.2×27.0	当館蔵
98	集団就職列車	千葉禎介	1964(昭和39)年頃	横手駅	17.8×27.0	当館蔵
99	離農の廃屋	千葉禎介	1964-65(昭和39-40)年頃	平鹿郡	18.4×27.8	当館蔵

4. 木村伊兵衛・秋田派の写友たち

No	作品名	作家名	撮影年	撮影地	寸法(cm)	所蔵	備考
100	農婦	木村伊兵衛	1950年代	撮影地不詳	26.5×39.3	個人蔵	
101	青年	木村伊兵衛	1952(昭和27)年	秋田市仁井田	25.9×37.4	秋田市立千秋 美術館蔵	
102	象潟	木村伊兵衛	1952(昭和27)年	象潟町	37.5×26.0	秋田市立千秋 美術館蔵	
103	風選	木村伊兵衛	1952(昭和27)年	秋田市泉	37.4×25.0	秋田市立千秋 美術館蔵	
104	秋田	木村伊兵衛	1953(昭和28)年	秋田市	26.0×37.4	秋田市立千秋 美術館蔵	
105	秋田	木村伊兵衛	1953(昭和28)年	秋田市	25.9×37.5	秋田市立千秋 美術館蔵	
106	わら仕事の母と子	木村伊兵衛	1954(昭和29)年	大曲市小貫	37.5×25.9	秋田市立千秋 美術館蔵	
107	村の若者たち	木村伊兵衛	1954(昭和29)年	大曲市内小友	25.9×37.4	秋田市立千秋 美術館蔵	
108	苗とりの農夫 (休憩)	木村伊兵衛	1957(昭和32)年	大曲市内小友	25.0×37.4	秋田市立千秋 美術館蔵	
109	梵天	木村伊兵衛	1953(昭和28)年	横手市	26.0×37.5	秋田市立千秋 美術館蔵	
110	仙北郡太田町	木村伊兵衛	1965(昭和40)年	太田町	25.0×37.4	秋田市立千秋 美術館蔵	
111	いっぷく	岩田幸助	1953(昭和28)年	大曲市内小友	39.5×26.5	秋田市立千秋 美術館蔵	
112	青年	岩田幸助	1953(昭和28)年	大曲市内小友	39.5×27.5	秋田市立千秋 美術館蔵	
113	田植の少女	岩田幸助	1953(昭和28)年	大曲市内小友	40.0×26.8	秋田市立千秋 美術館蔵	
114	しもやけ	岩田幸助	1954(昭和29)年	秋田市	39.5×28.5	秋田市立千秋 美術館蔵	
115	昼下り	岩田幸助	1954(昭和29)年	大曲市内小友	29.7×39.5	秋田市立千秋 美術館蔵	
116	村童	岩田幸助	1955(昭和30)年頃	八郎潟町	39.5×28.5	秋田市立千秋 美術館蔵	
117	家路	岩田幸助	1957(昭和32)年	大曲市内小友	39.5×28.5	秋田市立千秋 美術館蔵	
118	雪晴れ	岩田幸助	1957(昭和32)年	岩手県陸中 川尻	39.5×28.5	秋田市立千秋 美術館蔵	
119	市場	岩田幸助	1960(昭和35)年	横手市	40.0×26.8	秋田市立千秋 美術館蔵	
120	昼寝・託児所	岩田幸助	1959(昭和34)年	六郷町	39.5×27.5	秋田市立千秋 美術館蔵	
121	秋田おばこ	大野源二郎	1952(昭和27)年	大曲市	22.0×31.3	秋田市立千秋 美術館蔵	アサヒ国際写真 サロン展入選1952年
122	雨降る田園	大野源二郎	1953(昭和28)年	大曲市大曲 西根	31.1×22.7	秋田市立千秋 美術館蔵	『日本カメラ』 1957年6月号月例

123	相乗り	大野源二郎	1953(昭和28)年	大曲市花館	22.2×31.1	秋田市立千秋美術館蔵	『写真サロン』1954年2月号月例
124	丑湯治の宴	大野源二郎	1954(昭和29)年	大曲市鶴の湯	31.0×22.3	秋田市立千秋美術館蔵	『カメラ』1954年11月号月例
125	紙芝居	大野源二郎	1954(昭和29)年	中仙町長野	22.7×31.1	秋田市立千秋美術館蔵	『日本列島写真人評伝フォトコンテスト別冊』1992年
126	夏一背あて作り	大野源二郎	1956(昭和31)年	大曲市大貫	31.2×22.8	秋田市立千秋美術館蔵	『カメラ毎日』1964年9月号
127	眠る子	大野源二郎	1956(昭和31)年	大曲市花館	31.0×22.8	秋田市立千秋美術館蔵	フォトグラフィ誌コンテスト1957年、 『アサヒカメラ年鑑1961年版』
128	湯治一孫	大野源二郎	1962(昭和37)年	岩手県夏湯温泉	31.3×22.1	秋田市立千秋美術館蔵	『カメラ毎日』1964年7月号 『アサヒカメラ年鑑1965年版』
129	雪国 (10点セット)	大野源二郎	1988(昭和63)年	—	24.5×30.5	個人蔵	『日本カメラ』1988年2月号
130	湯治場の老婆	大野源二郎	1959(昭和34)年	孫六温泉めのゆ(乳頭温泉)	34.6×26.5	個人蔵	木内フォトコンテスト推薦1959年
131	仁王路	大野源二郎	1988(昭和63)年	中仙町東長野	30.4×21.5	個人蔵	
132	横手のかまくら	大野源二郎	1962(昭和37)年	横手市	30.5×24.5	個人蔵	『日本カメラ』1968年1月号月例
133	おばこ	大野源二郎	1953(昭和28)年	横手市	30.5×24.5	個人蔵	二科展入選 1953年
134	授乳	大野源二郎	1954(昭和29)年	飯田川町虻川	30.5×24.5	個人蔵	

5. 秋田のひとを写して

No	作品名	作家名	撮影年	撮影地	寸法(cm)	所蔵	備考
135	ある男	千葉禎介	1940年代	撮影地不詳	22.4×18.5	当館蔵	
136	(手酌の男)	千葉禎介	1950年代	横手町	30.4×25.4	当館蔵	
137	(老人のお昼)	千葉禎介	撮影年不詳	撮影地不詳	20.9×30.6	当館蔵	
138	(刈り田の男)	千葉禎介	撮影年不詳	平鹿郡	18.7×28.1	当館蔵	
139	(車内にて)	千葉禎介	1958(昭和33)年頃	平鹿郡	30.6×21.4	当館蔵	
140	青年	千葉禎介	1960(昭和35)年頃	平鹿郡	18.3×27.6	当館蔵	
141	雪國風俗	千葉禎介	1940年代	横手町内町	29.2×24.5	当館蔵	
142	(雪国)	千葉禎介	1945-50(昭和20-25)年	横手町四日町	30.6×22.4	当館蔵	
143	(おばこ)	千葉禎介	1950年代	撮影地不詳	18.5×27.6	当館蔵	
144	(農家の嫁)	千葉禎介	撮影年不詳	撮影地不詳	25.8×19.0	当館蔵	
145	(おばこ)	千葉禎介	撮影年不詳	撮影地不詳	30.8×22.6	当館蔵	
146	(農婦)	千葉禎介	撮影年不詳	撮影地不詳	25.7×18.8	当館蔵	
147	田植の女たち	千葉禎介	1963(昭和38)年	横手市境町	17.3×26.6	当館蔵	
148	(母子)	千葉禎介	1950年代	撮影地不詳	30.3×23.2	当館蔵	
149	授乳	千葉禎介	1940年代	仙北郡	27.4×18.6	当館蔵	
150	開拓の母	千葉禎介	1957(昭和32)年	平鹿郡	30.6×21.2	当館蔵	
151	雪国の子供	千葉禎介	1950(昭和25)年頃	平鹿郡	28.8×24.8	当館蔵	
152	(子守)	千葉禎介	1940年代	撮影地不詳	30.5×25.5	当館蔵	
153	(炉端)	千葉禎介	1950年代	横手市	30.5×25.4	当館蔵	
154	傷む子	千葉禎介	1952(昭和27)年	横手市七軒町	25.4×30.6	当館蔵	
155	少年	千葉禎介	1950年代	撮影地不詳	30.2×22.2	当館蔵	
156	(村の子ども)	千葉禎介	撮影年不詳	撮影地不詳	18.1×27.1	当館蔵	

157	(宝物)	千葉禎介	撮影年不詳	撮影地不詳	28.2×19.0	当館蔵
158	(仲良し)	千葉禎介	撮影年不詳	撮影地不詳	18.0×27.6	当館蔵
159	雪国の子等	千葉禎介	1950年代	横手市	19.8×30.3	当館蔵
160	(あーん)	千葉禎介	1960年代	撮影地不詳	30.2×22.8	当館蔵
161	夕陽の頃	千葉禎介	1958(昭和33)年	平鹿郡	25.5×30.5	当館蔵
162	(夕陽の頃)	千葉禎介	1958(昭和33)年	平鹿郡	25.5×31.0	当館蔵
163	子供たち	千葉禎介	1958(昭和33)年	平鹿郡	21.4×30.7	当館蔵

関連作品・資料

No	名称	作家名	撮影年・制作年ほか	撮影地	サイズ	所蔵	備考
資料1	『特集カメラ アマチュア 撮影読本』	—	1949年	—	—	個人蔵	
資料2	スーパーイコンタ	—	—	—	—	個人蔵	
資料3	ローライフレックス	—	—	—	—	個人蔵	
資料4	カメラ雑誌	—	—	—	—	個人蔵	
資料5	新聞スクラップ、蔵書	—	—	—	—	個人蔵	
資料6	農村ルポルタージュ写真	千葉禎介	—	—	—	当館寄託品	
資料7	ライカM2、M3	千葉禎介	—	—	—	個人蔵	
参考作品	写友、木村とのスナップ	大野源二郎	—	六郷町	—	個人蔵	
資料8	撮影行 木村伊兵衛と	千葉禎介か	1950年代か	大雄村田根森	—	個人蔵	
資料9	撮影用コート	—	—	—	—	個人蔵	
資料10	木村伊兵衛書簡	—	1964(昭和39)年	—	—	個人蔵	

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

- ・秋田魁新報 11/4(内覧会・講演会告知)、12/2、1/10、1/17、1/27(記事)
- ・河北新報 12/2、1/18
- ・朝日新聞 12/7
- ・北鹿新聞 12/21
- ・日本経済新聞 12/23(写真掲載)
- ・読売新聞 1/17
- ・『ザ・マイカー』 11/20号
- ・『月刊アンドナウ』 12月号
- ・『月刊ギャラリー』 2017 vol.12
- ・『どあっぷ』 vol.114 (12/1)
- ・『市報よこて』 No.291 (12/1)
- ・『教育あきた』 No.739 (12/22)
- ・『エクラ』 1月号
- ・『芸術新潮』 1月号
- ・『rakra』 1・2月号

【ニュース放送】

- ・ABS秋田放送 12/27、18:15～

【ラジオ】

- ・FMゆーとぴあ「おさんぽ美術館」 12/19、7:20～

【WEB】

- ・「Walker Plus」

※ V.企画展「美術館の眼Ⅷ」は、秋田県立近代美術館改修工事実施のため2018(平成30)年度に延期となった。

コレクション展

i. 2017コレクション展

第Ⅰ期 没後20年 紺野五郎

会期：2017(平成29)年4月12日(水)～7月17日(月・祝) 【97日間】

第1・第2展示室(6階)：「没後20年 紺野五郎」

第3展示室(6階)：「秋田蘭画・日本画コレクション」

担当：小林 紀子、奈良 香



第1展示室：没後20年 紺野五郎

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横) cm
1	紺野 五郎	ビル無題 (浅草松屋)	1953(昭和28)年	キャンバス・油彩	162.1×130.3
2	紺野 五郎	'62ー裸婦8	1962(昭和37)年	キャンバス・油彩	97.0×130.3
3	紺野 五郎	腰かける裸婦	1963(昭和38)年	キャンバス・油彩	130.3×162.1
4	紺野 五郎	三裸婦立つ場合	1964(昭和39)年	板・油彩	181.8×227.3
5	紺野 五郎	若い女	1965(昭和40)年	キャンバス・油彩	130.3×162.1
6	紺野 五郎	法輪をめぐる情景	1967(昭和42)年	キャンバス・油彩	130.3×193.9
7	不詳	ポラーノ舎看板	制作年不詳	木	97.0×27.0
8	紺野 五郎	男鹿のなまはげ 絵本挿絵	1979(昭和54)年頃	紙・鉛筆・透明水彩	51.8×36.5
9	紺野 五郎	男鹿風景 スケッチ	1967(昭和42)年	紙・鉛筆	40.8×31.5
10	紺野 五郎	10:00AM スケッチ	1972(昭和47)年	紙・鉛筆	44.7×36.4
11	紺野 五郎	リンゴ デッサン	1950(昭和25)年	紙・墨	36.3×25.3
12	紺野 五郎	田園風景 スケッチ	1952(昭和27)年	紙・色鉛筆・透明水彩	38.5×27.2
13	紺野 五郎	アサヒビール スケッチ	1953(昭和28)年	紙・インク・鉛筆	27.7×20.3
14	紺野 五郎	浅草 吾妻橋 スケッチ	1953(昭和28)年	紙・インク・鉛筆	27.7×20.3
15	紺野 五郎	浅草松屋 スケッチ	1953(昭和28)年	紙・インク・鉛筆	27.7×20.3
16	紺野 五郎	浅草松屋 スケッチ	1953(昭和28)年頃	紙・不透明水彩	38.2×27.1
17	紺野 五郎	リンゴと茄子と葡萄 スケッチ	1952(昭和27)年	紙・インク	38.6×27.1
18	紺野 五郎	裸婦 デッサン	1952(昭和27)年	紙・鉛筆	38.0×27.2
19	紺野 五郎	リンゴとカボチャ デッサン	1954(昭和29)年	紙・インク	38.0×27.0
20	紺野 五郎	ハマ スケッチ	1952(昭和27)年	紙・墨	38.3×27.1
21	紺野 五郎	裸婦 エスキース	1963(昭和38)年	紙・墨・不透明水彩	37.8×53.8
22	紺野 五郎	二人の裸婦 エスキース	1964(昭和39)年	紙・墨・水彩	37.9×53.7
23	紺野 五郎	三裸婦立つ場合 エスキース	1963(昭和38)年	紙・透明水彩	46.6×37.8
24	紺野 五郎	'62ー裸婦8 エスキース	1962(昭和37)年	紙・マジックインク・墨・水彩	37.9×46.9
25	紺野 五郎	車石 エスキース	1969(昭和44)年頃	紙・墨・不透明水彩	38.2×27.1
26	紺野 五郎	車石 エスキース	1969(昭和44)年頃	紙・墨・不透明水彩	37.9×26.8

第2展示室：没後20年 紺野五郎

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横) cm
27	紺野 五郎	留守家族ー発車時刻	1975(昭和50)年	キャンバス・油彩	193.9×130.3
28	紺野 五郎	留守家族ー待ちぼうけ	1975(昭和50)年	キャンバス・油彩	193.9×130.3
29	紺野 五郎	見送り人席	1980(昭和55)年	キャンバス・油彩	162.1×130.3
30	紺野 五郎	b y eー b y e	1981(昭和56)年	キャンバス・油彩	162.1×130.3
31	紺野 五郎	いくつかの出会い	1982(昭和57)年	キャンバス・油彩	162.1×261.0
32	紺野 五郎	若い人	1983(昭和58)年	キャンバス・油彩	162.1×130.3
33	紺野 五郎	留守家族ー発車時刻 エスキース	1974(昭和49)年頃	ペーパーキャンバス・油彩	52.0×34.0
34	紺野 五郎	留守家族ー待ちぼうけ エスキース	1974(昭和49)年	ペーパーキャンバス・油彩	52.1×33.9

35	紺野 五郎	若い女のプロフィール デッサン	1976(昭和51)年	紙・鉛筆・色鉛筆	44.7×36.6
36	紺野 五郎	女性像 デッサン	1976(昭和51)年	紙・鉛筆・パステル	44.7×36.6
37	紺野 五郎	女性像 デッサン	1976(昭和51)年	紙・鉛筆・パステル	44.7×36.6
38	紺野 五郎	若い人 エスキース	1983(昭和58)年	紙・鉛筆	52.0×34.0
39	紺野 五郎	bye-bye エスキース	1981(昭和56)年	紙・鉛筆・色鉛筆	52.0×36.5
40	紺野 五郎	いくつかの出会い エスキース	1982(昭和57)年	紙・鉛筆	37.6×54.8
41	紺野 五郎	船室 スケッチ	1976(昭和51)年	紙・鉛筆	36.6×44.7
42	紺野 五郎	小さな帆 スケッチ	1977(昭和52)年	紙・色鉛筆・不透明水彩	30.1×22.1
43	紺野 五郎	青い船 スケッチ	1981(昭和56)年	紙・鉛筆・色鉛筆	39.4×27.5

第3展示室：秋田蘭画・日本画コレクション

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横)cm
44	小田野直武	富嶽図 ※	江戸中期	絹本着色軸装	43.5×77.0
45	小田野直武	芍薬花籠図 ※	江戸中期	絹本着色軸装	94.5×21.0
46	平福 穂庵	藤花游鯉	1890(明治23)年	紙本墨画淡彩軸装	133.4×52.5
47	平福 百穂	彩雲	1920(大正9)年	絹本着色額装	72.0×86.0
48	平福 百穂	柏子雀	制作年不詳	紙本墨画淡彩軸装	139.0×33.5
49	寺崎 廣業	春秋	1905(明治38)年頃	紙本金地着色6曲1双	各180.0×370.0
50	寺澤孝太郎	青緑山水	制作年不詳	絹本着色軸装	121.8×35.6
51	寺澤孝太郎	千山狭水	制作年不詳	紙本着色軸装	83.0×25.8
52	高橋 萬年	四季彩	制作年不詳	紙本着色額装2曲1隻	150.0×150.0
53	福田豊四郎	田園抄村童12ヶ月	1964(昭和39)年	紙本着色額装	各17.8×13.9、 13.9×17.8
54	月居 偉光	晨(牡丹)	1987(昭和62)年	紙本墨画淡彩2曲1隻	178.0×240.0
55	高橋 清見	水無月の頃	1991(平成3)年	紙本着色額装	227.3×181.8

※ 小田野直武の《富嶽図》と《芍薬花籠図》は作品保護のため会期中に展示替え。
 展示期間：前期 《富嶽図》4/12～5/29、後期 《芍薬花籠図》5/30～7/17

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

- ・秋田魁新報 5/6
- ・毎日新聞 7/15

【テレビ・ラジオ】

- ・FMゆーとぴあ 6/20

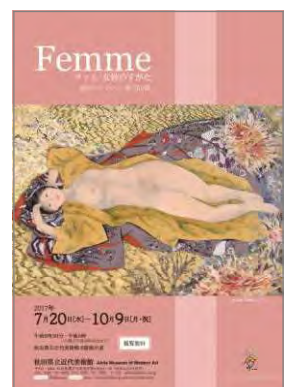
ii. 2017コレクション展

第Ⅱ期 Femme 女性のすがた

会期：2017(平成29)年7月20日(木)～10月9日(月・祝) 【82日間】

第1・第2・第3展示室(6階)：「Femme 女性のすがた」

担当：鈴木 京



第1展示室

No.	作家	作品名	制作年	材質	サイズ(cm)	形式・員数
1	藤井 勉	フリージア	1983(昭和58)	油彩・キャンバス	90.9×116.5	額装
2※	小田野直武	不忍池図	江戸中期	絹本着色	98.5×132.5	額装
2※	小田野直武	岩に牡丹図	江戸中期	絹本着色	48.3×72.7	額装
3	平福 穂庵	江口ノ君 ※寄託品	1887(明治20)	絹本着色	112.0×54.8	軸装
4	寺崎 廣業	天の岩戸	制作年不詳	絹本着色	147.0×84.0	軸装
5	高橋 萬年	弁財天	制作年不詳	絹本着色	124.8×50.4	軸装
6	寺崎 廣業	長恨歌	1913(大正2)	絹本裏箔着色	各171.0×373.5	六曲一双
7	横山 津恵	湖の譚	1965(昭和40)	紙本着色	227.0×181.7	額装
8	福田豊四郎	山春	1930(昭和5)	紙本着色	各228.8×106.8	額装二点
9	福田豊四郎	山菜売る人達	1932(昭和7)	紙本着色	168.0×381.6	六曲一隻
10	福田豊四郎	五月山湯	1933(昭和8)	紙本着色	144.3×201.9	二曲一隻
11	福田豊四郎	夏郷	1934(昭和9)	紙本着色	218.8×178.6	二曲一隻

※秋田蘭画は下記の期間で展示替えを行った。

小田野直武《不忍池図》：7月20日～8月28日、小田野直武《岩に牡丹図》：8月29日～10月9日

第2展示室

No.	作家	作品名	制作年	材質	サイズ(cm)	形式・員数
12	小西正太郎	裸婦	1925(大正14)	油彩・キャンバス	100.0×80.0	額装
13	藤田 嗣治	ユキ（仮面を持つ 婦人裸婦像）	制作年不詳	紙・鉛筆	125.0×45.5	額装
14	藤田 嗣治	裸婦	1932(昭和7)	紙・鉛筆	41.4×52.7	額装
15	藤田 嗣治	裸婦	1932(昭和7)	紙・鉛筆	35.0×53.0	額装
16	一木 亨	裸婦	制作年不詳	油彩・キャンバス	65.0×53.0	額装
17	岡田 謙三	高原	1939(昭和14)	油彩・キャンバス	191.0×255.5	額装
18	横山 津恵	珊瑚礁 I	1979(昭和54)	紙本着色	174.0×222.2	額装
19	山本 豊市	花	1979(昭和54)	乾漆	64.0×18.0×16.0	一点
20	平福 穂庵	墨堤舟遊	1887(明治20)	絹本着色	127.5×55.0	軸装
21	鐙木 清方	松と梅	1918(大正7)	絹本着色	各169.0×176.0	額装二点
22	鐙木 清方	秋の夜	1919(大正8)	絹本着色	140.3×50.7	軸装
23	草薨 興宗	若い婦人像	制作年不詳	絹本着色	82.6×49.5	軸装
24	伊勢 正義	集ひ	1935(昭和10)	油彩・キャンバス	180.0×301.0	額装
25	福田豊四郎	街景	1932(昭和7)	紙本着色	97.0×71.1	額装
26	玉村方久斗	書斎（仮題）	1931(昭和6)頃	紙本着色	65.9×65.8	額装
27	玉村方久斗	玄関にて（仮題）	1931(昭和6)頃	紙本着色	66.0×66.0	額装

第3展示室

No.	作家	作品名	制作年	材質	サイズ(cm)	形式・員数
28	町田 曲江	太子と王妃	1936(昭和11)	絹本着色	右55.0×43.0 左55.3×42.3	額装二点
29	勝平 得之	七夕（湯沢）	1937(昭和12)	木版、紙	36.7×51.4	額装
30	福田豊四郎	秋田のマリヤ	1948(昭和23)	紙本着色	179.3×222.4	三曲一隻
31	荘司 福	秋立つ	1946(昭和21)	紙本着色	138.5×124.0	額装
32	金子 義償	落葉	1991(平成3)	油彩・キャンバス	162.1×97.0	額装
33	馬場 彬	有限的眺望A	1983(昭和58)	油彩・キャンバス	130.3×162.0	額装
34	高橋甲子男	SUN-A	1968(昭和43)	油彩・キャンバス	130.0×162.0	額装
35	谷口 深秋	姉妹	1932(昭和7)	紙本着色	146.0×152.5	額装
36	柴田 安子	花鳥図 ※寄託品	制作年不詳	絹本着色	46.5×51.1	軸装
37	河津 胖子	夏の終わり	1997(平成9)	紙本着色	102.0×102.0	額装
38	加藤 貞子	人形衆VI	1979(昭和54)	油彩・キャンバス	182.0×227.0	額装

39	山脇佐久子	無題	1990年代	油彩・キャンバス	55.0×46.0	額装
40	小紋 章子	追憶	2004(平成16)	油彩・キャンバス	130.3×162.2	額装

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

- ・『美術の窓』 9月号
- ・『教育あきた』 9月号
- ・『take up!』 9月号

【テレビ・ラジオ】

- ・AKTニュース 7/20 18:25～

iii. 2017コレクション展

第Ⅲ期 生誕140年 平福百穂

会期：2017(平成29)年10月12日(木)～2018(平成30)年1月31日(水) 【99日間】

休館日：2017(平成29)年12月29日(金)～31日(日)

2018(平成30)年1月9日(火)～18日(木)

第1・第2展示室(6階)：「生誕140年 平福百穂」

第3展示室(6階)：「洋画セレクション」

担当：奈良 香



第1・第2展示室 生誕140年 平福百穂

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法(cm)
1	平福 百穂	武尊誅梟帥図	1893(明治26)	紙本着色軸装	81.0×133.0
2	平福 百穂	夕涼【寄託品】	—	紙本着色軸装	122.6×33.0
3	平福 百穂	議会の大隈公	1914(大正3)	紙本着色軸装	119.5×35.8
4	平福 百穂	蘆花翡翠	—	紙本着色軸装	27.7×30.0
5	平福 百穂	秋草図	1927(昭和2)頃	紙本着色襖(4面)	各177.0×89.8
6	平福 百穂	春山	1933(昭和8)	紙本着色軸装	91.0×104.0
7	平福 百穂	富嶽図	1925(大正14)	紙本着色軸装	255.5×139.8
8	平福 百穂	峻嶺懸瀑【寄託品】	1917(大正6)	紙本着色軸装	145.4×47.3
9	平福 百穂	剣峯霜秋	1924(大正13)	紙本着色軸装	46.3×53.3
10	平福 百穂	鳳仙花と七面鳥	—	紙本着色屏風(6曲1隻)	162.5×345.2
11	平福 百穂	朝露	1915(大正4)頃	紙本着色屏風(6曲1隻)	134.9×268.6
12	平福 百穂	群鴉	1917(大正6)	紙本着色墨画屏風(2曲1双の左隻)	172.7×170.2
13	平福 百穂	富貴之臺	1917(大正6)	紙本着色軸装	141.7×50.3
14	平福 百穂	日本武尊・相模の海・白鳥陵	1918(大正7)	紙本着色軸装(3幅)	各156.0×47.0
15	平福 百穂	牛	1918(大正7)	紙本着色屏風(6曲1双)	各168.5×373.8
16	平福 百穂	菜圃	1920(大正9)	紙本着色屏風(2曲1双)	各147.8×162.8
17	平福 百穂	堅田の一休	1929(昭和4)	紙本着色軸装	115.0×95.0
18前	小田野直武	唐太宗花鳥山水図【重要文化財】	1770年代(安永年間)	紙本着色軸装(3幅)	各122.0×44.5
19前	小田野直武	鱒図	1770年代(安永年間)	紙本着色軸装	17.0×61.0
18後	小田野直武	写生帖【秋田県指定文化財】	1770年代(安永年間)	紙本着色1帖	各36.3×26.7

19後	佐竹 曙山	松に唐鳥図	1770年代(安永年間)	絹本着色軸装	173.0×53.0
【重要文化財／寄託品】					
20	平福 百穂	柏樹	1930(昭和5)	紙本金彩襖(2面)	各186.5×103.0
21	平福 百穂	雙鶴	1933(昭和8)	紙本着色(金潜紙)額装	78.3×83.5

※作品No. 18、19の秋田蘭画は、作品保護のため会期中に展示替えを行った。

前期：《唐太宗花鳥山水図》、《鱒図》 平成29年10月12日（木）～11月30日（木）

後期：《写生帖》、《松に唐鳥図》 平成29年12月1日（金）～平成30年1月31日（水）

第3展示室 洋画セレクション

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法 (cm)
22	金沢秀之助	果樹園の秋	1964(昭和39)	油彩、キャンバス	112.1×145.5
23	田宮 進	秋色風声(八幡平の秋)	1977(昭和52)	油彩、キャンバス	130.0×162.0
24	伊藤 博次	初冬(八郎潟)	1954(昭和29)	油彩、キャンバス	97.0×193.9
25	伊藤 博次	冬C	1960(昭和35)	油彩、キャンバス	145.5×97.0
26	河村千代三	残雪の花	1956(昭和31)	油彩、キャンバス	91.0×72.8
27	木島 恭一	冬の木(冬眠から)	1969(昭和44)	油彩、キャンバス	162.0×390.9
28	葛西 康	雪賛歌D	1964(昭和39)	油彩、キャンバス	162.0×130.0
29	渡辺喜久蔵	雪国悠々	2009(平成21)	油彩、キャンバス	194.0×162.0
30	渡辺喜久蔵	雪国晴れたり	2005(平成17)	油彩、キャンバス	194.0×162.0
31	高橋 功	秋田の冬	2004(平成16)	油彩、板	58.0×41.7

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

- ・市報よこて 1/15
- ・秋田魁新報 1/25

※ iv. 2017コレクション展 第4期「没後10年 横山津恵」は、秋田県立近代美術館改修工事実施のため2018(平成30)年度に延期となった。

教育普及事業

誰もが気軽に利用でき、美術への理解を深めることができる親しみやすい美術館を目指して、講演会や美術館教室、美術館講座等を開催している。また、美術館事業の広報活動を行うとともに、ハイビジョンギャラリーでの郷土作家を扱った美術番組等の上映、県内の美術情報や美術館に関する図書資料の提供等、美術情報センターとしての役割を果たす多面的な活動も行っている。

さらに美術館を第二の学校として活用する「あきたセカンドスクール推進事業」において、学校の授業としてカウントできる体験活動を行っている。なお、県内の遠方地域に対しては、来館が困難な地域の学校を会場とした「出前美術館」、県立図書館を会場とした「ネットワーク事業」を実践している。このほか、親子で楽しく過ごせるキッズルームの開設や、団体鑑賞者に対する作品解説、美術館ボランティアによる美術館案内も実施している。

●キンビ・創作体験プログラム

美術館教室

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	水彩画教室「花を描く」	6月 3日(土) 6月 4日(日)	中学生以上 一般15名	鈴木 司(秋田公立美術大学美術センター教授)	全2日	18名	藤井 木村
II	型染め教室 「ハンカチを染めよう」	9月 2日(土) 9月 3日(日)	中学生以上 一般10名	森 香織(秋田公立美術大学助教)	全2日	10名	小林 西野
III	日本画教室「猫を描こうⅡ」	11月4日(土) 11月5日(日)	中学生以上 一般15名	小笠原 光(日本画家)	全2日	16名	木村 藤井

みんなの教室

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	「Go!Go! 走るぞ! 木のクルマ!」	8月 6日(日)	小学生以上 一般15名	木村雅洋(当館学芸主事)	1日	計39名	木村 藤井
II	子どものための日本画教室 「岩絵の具で遊ぼう!」	11月19日(日)	小・中学生 15名	檜尾 康子(秋田県教育庁生涯学習課)	150分	計26名	小林 西野
III	「光の箱をつくろう」	12月10日(日)	小学生以上一般 各回25名	松村 泰三(東北芸術工科大学准教授)	120分 ×2	計49名	西野 木村

きっずあーと

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	「びしゃびしゃアート」	8月20日(日) ※	未就学児(4~6歳) 各回30名	小林紀子(当館学芸主事)	90分 ×2	計111名	小林 西野
II	「どろどろアート」	10月15日(日)	未就学児(4~6歳) 各回15名	藤井正輝(当館学芸主事)	90分 ×2	計60名	藤井 小林

※悪天候により当初予定していた7月23日(日)から延期して実施。

展覧会にちなんだワークショップ

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	スズキコージ展ワークショップ1 「仮面 DE パレードだぜい!」	5月 6日(土)	4歳以上一般 人数無制限	スズキコージ(絵本作家)	120分	計47名	西野 木村
II	スズキコージ展ワークショップ2 「万国旗を作ろうぜい!」	5月 7日(日)	4歳以上一般 人数無制限	スズキコージ(絵本作家)	90分	計40名	西野 木村
III	明治工芸の至宝展ワークショップ 「蒔絵に挑戦!」	10月14日(土)	高校生以上 一般10名	齋藤 國男(秋田県工芸家協会)	1日	10名	保泉 鈴木

●美術館教室

I. 水彩画教室「花を描く」

昨年度に引き続き、秋田公立美術大学教授鈴木司氏を講師にお迎えし、水彩画教室「花を描く」を開催した。画用紙を紅茶で煮込むことで古びた紙の質感を作り出す「エイジング」や、洗剤を混ぜて泡立たせた絵の具を紙に置き泡の跡を残す「バブリング」等、様々なモダンテクニックも紹介していただいた。参加者は、花の背景にお気に入りのモダンテクニックを活かしながら、思い思いに華やかな作品を完成させた。

関連記事：秋田魁新報 5/18



II. 型染め教室「ハンカチを染めよう」

秋田公立美術大学助教森香織氏を講師に迎え、日本の伝統的染色技法である「型染め」教室を開催した。参加者は下絵のデザインから染め上がりまでの工程を体験した。型彫りなど、細かな工程があり、型糊の乾燥時間も時間差が生じたが、森氏の助言を得て、参加者は思い思いのハンカチを完成させることができた。互いの作品を見て喜び合い、和やかな雰囲気の講座となった。



III. 日本画教室「猫を描こうⅡ」

身近な「猫」を題材に日本画の岩絵の具による描画を体験する教室。講師は前年に引き続き、日本画家の小笠原光氏にお願いした。あらかじめ板の大きさに合わせた下書きを持参してもらったので、初日から着色や箔貼りまで進む参加者もいた。おおまかな色をアクリル絵具で塗った後、岩絵の具で仕上げてゆく。十分に描き込んだ作品が多く充実した内容の教室だったが、各自の進度がまちまちなため、最後に少しだけしか岩絵の具を使えなかった参加者もいたのが残念である。

各自の描くペースを見つづ、こちらから次の制作行程への移行をスムーズに行う働きかけが大事であると感じた。



●みんなの教室

I. 「Go! Go! 走るぞ! 木のクルマ!」

いろいろな色や形の木を材料に、ゴム動力で動く車をつくる教室を開催した。事前にタイヤや動力の基本となる部分を加工し準備しておき、参加者が各自で考えたデザインに合わせて木を切り出し調整しながら制作していった。車体の重さやタイヤの位置、ゴムの長さや強度などで、走らせる時に問題の出る例もあったが、試作の過程で微調整について把握していたので参加者全員が走る車を完成させることができた。

親子で一緒に相談し工夫しながら、ひとつの物を作るという機会はなかなか無いので、今後も題材や制作のプロセスを精査しながら、このような教室を開催してゆければと思う。



Ⅱ. 子どものための日本画教室「岩絵の具で遊ぼう！」

県生涯学習課樫尾康子氏を講師に迎え、子どものための日本画鑑賞と材料体験の講座を開催した。参加者は6階コレクション展の平福百穂を鑑賞した後、岩絵の具による制作を楽しんだ。

材料体験では、参加者が楽しめるよう、見聞きする活動と、実際に材料に触れる活動のバランスに配慮した。樫尾氏には本格的な日本画の知識を分かりやすく教示していただいた。参加者は日本画独特の用具・材料に興味津々だった。箔貼り体験では、魔法のように箔がはられていくのを見て歓声が上がった。参加者自身も真剣な表情で箔貼りに取り組んでいた。



Ⅲ. 「光の箱を作ろう」

透過したり反射したりする光の美しさを味わうとともに、ミラーフィルムや色セロファンなど、材料の特性を生かした飾りづくりを楽しむプログラムである。

「光の箱」の考案者は、講師の松村泰三氏であり、一昨年度も特別展「魔法の美術館」のワークショップで御指導をいただいている。材料がキットになっていたが、ミラーフィルムの形や色セロファンの色の組み合わせ方など、それぞれに工夫して制作できる内容であった。親子での参加が多く、保護者と協力しながら全員が完成することができた。

完成した作品に光を当てたときの子どもたちの嬉しそうな表情が何よりの成果であった。



関連記事：秋田魁新報 12/14

●きっずあーと

Ⅰ. 「びしゃびしゃアート」

美術館前の彫刻広場で、水鉄砲を使って色水を飛ばしたり、かけ合ったりして遊ぶ活動である。参加者はこの遊びを通して全身の感覚を働かせる。最後は白いTシャツが色水で染まった「びしゃびしゃアート」作品となる。参加者は水鉄砲から色水が飛ぶ様子を見たり、お互いに水をかけ合ったりしながら、夢中になって遊んだ。未就学児が安全に活動できるよう、場の設定やルール指導などに配慮した。

※7月23日が記録的豪雨のため、8月20日に延期して実施した。



Ⅱ. 「どろどろアート」

昨年・一昨年と開催し大好評だった「どろどろアート」を今年度も実施した。これまで90cm四方としていた1人分の紙の大きさを今回は90cm×120cmと拡大したことで、こどもたちがより思う存分活動に浸れるよう工夫することができた。液体粘土の感触や色の変化を楽しんだり、全身を使って描く行為そのものを楽しんだりするプログラムの趣旨を冒頭で説明し、保護者の理解を得てからスタートできたこともよかった。



● 展覧会にちなんだワークショップ

I. II. スズキコージ・ヤッホーホイホー展 ワークショップ

展覧会の魅力をより一層味わい、楽しんでもいただくため、「子どもの本WAVE in あきた2017」との共催により、次の2つをワークショップとして開催した。

講師は出展作家であるスズキコージ氏ご本人である。

①「仮面 DE パレードだぜい！」

展覧会で展示している仮面と同じような仮面を自分たちで作り、館内外をパレードして楽しもうという内容である。段ボールをベースに、布やひも、色紙など様々な材料を切ったり、貼ったりしながら思い思いのイカす仮面づくりを行った。子どもだけではなく、大人の参加もあり、それぞれに楽しんで制作する姿が見られた。制作後は、笛や太鼓などの楽器を鳴らしながら彫刻広場までそぞろ歩いた後、展示室の中でスズキ氏が紙吹雪を散らす中、賑やかにパレードを終了した。自由な発想でモノをつくる楽しさやみんなで喜びを共有するうれしさを全身で感じる機会となった。

②「万国旗をつくろうぜい！」

切り紙による万国旗づくりである。色紙を二つ折りにし、思いつくまま切り取って開くと思いがけない模様ができあがるため、気軽に楽しむことができ、何枚もチャレンジする参加者が見受けられた。様々な色や形の模様を万国旗に見立て、中央ホールの天井に縦横無尽に吊して楽しんだ。



III. Ippin! 逸品 明治工芸の至宝展 ワークショップ 「蒔絵に挑戦！」

菓子皿に漆で絵などを描きその上に金属粉を蒔く、蒔絵の技法を体験した。午前は、講師が準備した下絵（簡単な模様や花の図など）を使って、下塗りがされた皿に蒔絵の練習をした。午後からは参加者各々が準備してきた下絵や写真を使いながら、思い思いの図柄を皿に描いた。漆で下書きした上に金粉を蒔いて定着させ、その後回りの余計な金粉を取り除くと、そこに現れた美しい絵に参加者は感激の声を上げていた。普段食事などで使用している漆の皿や椀であるが、今回は実際にその技術を体験することができた貴重な時間となった。



●ミュージアムコンサート

I 「浅野未希&斎藤洋 ヴァイオリン・ピアノデュオ ～アフタヌーン名曲カフェ～」

日 時 2017年8月27日（日）
1回目…午後1時30分～午後2時10分
2回目…午後3時00分～午後3時40分

場 所 秋田県立近代美術館 5階中央ホール

出 演 浅野未希〈ヴァイオリン〉
斎藤 洋〈ピアノ〉

演奏曲目 1 ドビュッシー（ロック編） 亜麻色の髪の乙女
2 多忠亮（小六禮次郎編） 宵待草
3 シャミナード ロマンツァ作品31-2
4 アレヴィ ヨーロッパの風
5 ボラン ラグタイム
6 ラフマニノフ（プレス編） ヴォカリーズ
7 ブラームス（ヨアヒム編） ハンガリー舞曲第5番

観覧者数 267人



II 「今に息づき未来を奏でる伝統の音 箏・尺八のしらべ」

日 時 2017年10月1日（日）
午後1時30分～午後2時20分

場 所 秋田県立近代美術館 5階中央ホール

出 演 稲葉 興賀〈箏〉
斎藤 玖賀〈箏〉
藤田 新山〈尺八〉

演奏曲目 水野利彦編曲「ことうた～日本の歌～」
坂本勉作曲「秋の野道」
作者不詳「鶴の巣籠り」
野村正峰作曲「篝火」
三木露風作詞、山田耕筰作曲「赤とんぼ」
高野辰之作詞、岡野貞一作曲「ふるさと」

観覧者数 134人



III 堀澤麻衣子コンサート「火水(カミ)の歌 ～ Somewhere in the World ～」

日 時 2017年12月3日（日）
午後1時30分～午後2時30分

場 所 秋田県立近代美術館 5階中央ホール

出 演 堀澤麻衣子〈ヴォーカル〉
金子 雄太〈ピアノ〉

演奏曲目 1 作者不詳(賛美歌)「Amazing grace」
2 Gabriel Urbain Fauré 作「夢のあとに(フランス語)」
3 堀澤麻衣子 作詞 松本淳一 作曲「ニンジンとキャベツ」
4 金子雄太 作「阿頼耶識」
5 岡野貞一 作「ふるさと(唱歌)」
6 Steve Dorff 作「Kindred Spirits」
7 玉置浩二 作「正義の味方」
8 Andrew Dorff 作「somewhere in The World」

観覧者数 82人



IV 歌曲集「詩人の恋」～ハイネとシューマンの世界～ レクチャーコンサート

日 時 2018年1月7日（日）
午後1時～午後2時

場 所 秋田県立近代美術館 5階中央ホール

出 演 土崎 宏人〈バリトン〉
大山 英子〈ピアノ〉

演奏曲目 第1部 曲の解説「詩人の恋」全16曲について
第2部 歌曲集「詩人の恋」

Heinrich Heine 作詞、

Robert Alexander Schumann 作曲

- 1 美しい五月には
- 2 僕のあふれる涙から
- 3 ばらに百合に鳩に太陽
- 4 君の瞳に見入る時
- 5 心を潜めよう
- 6 ラインの聖なる流れに
- 7 恨みはしない
- 8 小さな花がわかってくれたら
- 9 あれはフルートとヴァイオリン
- 10 あの歌を聞くと
- 11 若者が娘を恋し
- 12 まばゆい夏の朝に
- 13 僕は夢の中で泣いた
- 14 夜毎君の夢を
- 15 昔話の中から
- 16 古い忌まわしい歌

観覧者数 123人



●美術館講座・美術講演

美術の鑑賞と理解を深めるために、仲町啓子館長が美術館講座を7回実施した。
詳細は次のとおりである。

◇美術館講座「館長講座」ー古代の人々の祈りと造形ー

講師：仲町啓子（秋田県立近代美術館長、実践女子大学文学部教授）

全7回、延べ受講者数290名（6F研修室）

- ① 5月13日（土） 呪術と造形ー縄文のヴィーナスと土器
- ② 6月10日（土） 古代国家形成へ向けてー弥生・古墳時代の造形
- ③ 7月22日（土） 仏教の伝来ー法隆寺と飛鳥時代の美術
- ④ 8月 5日（土） 「みやこ」の造営ー白鳳から天平時代の彫刻・工芸
- ⑤ 9月 9日（土） 東アジアのなかの日本美術ー高松塚古墳と法隆寺壁画
- ⑥ 10月21日（土） 唐風文化の全盛ー大仏開眼と天平彫刻
- ⑦ 11月11日（土） シルクロードの終着点ー正倉院と天平時代の絵画・工芸

◇県生涯学習センター（あきたスマートカレッジ連携講座）

明快！Artゼミ

全3回、延べ受講者数 96名

- ① 7月20日（木） 「平成29年度国立美術館巡回展 国立西洋美術館所蔵
ミューズ（芸術の女神）：まなざしの先の女性たち」
講師：奈良 香（秋田県立近代美術館学芸主事）
- ② 9月29日（金） 「明治工芸の粋を楽しむー「Ippin!逸品 明治工芸の至宝展」からー」
講師：保泉 充（秋田県立近代美術館主任学芸主事）
- ③ 12月 8日（金） 「農村を見つめて 千葉禎介の写真、その魅力」
講師：鈴木 京（秋田県立近代美術館学芸主事）

特別講座 受講者数 80名

2月16日（金） 「古代の人々の祈りと造形ー縄文から天平時代までー」

講師：仲町啓子（秋田県立近代美術館長）

●出前美術館・出前美術展

平成29年度 秋田県立近代美術館
出前美術館 in MOJA (ミュージアム・オブ・神代アート)

主 催：秋田県立近代美術館
共 催：仙北市教育委員会
会 場：仙北市立神代中学校
会 期：2017(平成29)年11月7日(火)～11月11日(土)
助 成：カメイ社会教育振興財団
担 当：三浦直、保泉充、西野美佳、木村雅洋
作品数：55点 (日本画※レプリカ含14、洋画11、版画12、彫刻8、
工芸2、スケッチ6、木の遊具2)
参加者：736人
(認定こども園36、小学校208、中学校218、一般274)

どこの地域でも芸術作品の鑑賞ができるようにと、来館の難しい地域に美術館が外向いて実施している展覧会である。13年目、20校目の開催となった今年度は、仙北市教育委員会の御協力の下、仙北市立神代中学校を会場に5日間開催した。
展示した作品は総数55点。秋田ゆかりの作家の作品53点ほか、秋田蘭画の代表作である小田野直武作『不忍池図』『富嶽図』の原寸大レプリカを展示した。

会期中は神代中学校の他、近隣の5つの小中学校や認定こども園など、総勢462人の子どもたちが来校し、授業の形で鑑賞活動を行った。小田野直武や平福穂庵、百穂など地元作家の作品が展示されているとあって、子どもたちの作品を見る表情は真剣そのものであった。「羽の勢いある表現から軍鶏の力強さを感じる」「軍鶏の目の鋭い感じからかっこよさを感じる」などそれぞれが感じ取ったイメージを交わし合ったり、美術館職員から説明を受けたりしながら、見方や感じ方を広げることができていた。また、最終日には創立70周年の式典が行われ、参加された地域の方々みなさんに足を運んでいただくことができたことも成果の一つといえよう。「なかなか美術館に行くことができないので、素晴らしい作品に出逢うことができてよかった」というご感想をいただくなど、確かな手応えを感じつつ展覧会を終えることができた。

多くの方々にふるさと秋田の美術作品のよさを感じ取っていただくことができ、芸術の秋にふさわしい展覧会となった。



「みる」(絵画・版画・工芸) さわらないように、みてね！

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(縦×横cm)	展示場所
1	福田豊四郎	田園抄 村童12ヶ月	1964(昭和39)	紙本着色	各17.8×13.9 13.9×17.8(11月)	1階 西廊下
2	福田豊四郎	氷原	1958(昭和33)	紙本着色	65.0×90.0	1階 西廊下
3	福田豊四郎	軍鶏	1954(昭和29)	紙本着色	89.5×63.7	1階 西廊下
4	伊藤 博次	黄昏のメモリー	1998(平成10)	油彩/キャンバス	80.5×116.5	1階 技・家室前廊下
5	金子 義償	郊外	1991(平成3)	油彩/キャンバス	193.9×97.0	1階 技・家室前廊下
6	馬場 彬	不確かなポートレート	1979(昭和54)	油彩/キャンバス	130.0×130.0	1階 技・家室前廊下

7	伊藤 弥太	作品	1965(昭和40)	油彩/キャンバス	100.0×80.3	1階 技・家室前廊下
8	草薙 隆	牛B	1968(昭和43)	油彩/キャンバス	97.0×130.3	1階 技・家室前廊下
9	斎藤 寅彦	蛸壺	2010(平成22)	油彩・アキーラ	91.0×54.5	1階 技・家室前廊下
10	斎藤 寅彦	時の跡〔イソヒヨドリ〕	2012(平成24)	油彩・アキーラ	116.7×91.0	1階 技・家室前廊下
11	小田野直武	「富嶽図」※レプリカ	—	※絹本着色	43.5×77.0	2階 多目的ルーム
12	小田野直武	「不忍池図」※レプリカ	—	※絹本着色	98.5×132.5	2階 多目的ルーム
13	平福 百穂	古柏栗鼠	—	絹本着色/軸装	135.5×45.0	2階 多目的ルーム
14	平福 穂庵	軍鶏	1886(明治19)	絹本墨画淡彩	134.8×55.7	2階 多目的ルーム
15	町田 曲江	太子と王妃	1936(昭和11)	絹本着色	右55.0×43.0 左55.3×42.3	2階 多目的ルーム
16	奈良 裕功	シオカラトンボ(塩辛蜻蛉)	1920(大正9)	紙本墨画着色	24.2×32.7	2階 多目的ルーム
17	奈良 裕功	トラフズク(虎斑木菟)	1932(昭和7)	紙本墨画着色	33.7×24.6	2階 多目的ルーム
18	奈良 裕功	クビキリギス(首蠡斯)	1934(昭和9)	紙本墨画着色	28.2×40.1	2階 多目的ルーム
19	奈良 裕功	ヤマメ(山女魚)	1935(昭和10)	鉛筆・顔彩/紙	36.5×27.0	2階 多目的ルーム
20	三村 治男	朝の海	1981(昭和56)	木版/紙	54.0×37.0	2階 多目的ルーム
21	三村 治男	紅葉	1993(平成5)	木版/紙	37.0×56.0	2階 多目的ルーム
22	勝平 得之	秋田風俗十題・いろり	1939(昭和14)	板目木版/紙	29.0×40.0	2階 多目的ルーム
23	勝平 得之	秋田風俗十題・かまど	1940(昭和15)	板目木版/紙	29.0×40.0	2階 多目的ルーム
24	勝平 得之	秋田風俗十題・うまや	1940(昭和15)	板目木版/紙	29.0×40.0	2階 多目的ルーム
25	勝平 得之	秋田風俗十題・ドッタ	1940(昭和15)	板目木版/紙	29.0×40.0	2階 多目的ルーム
26	勝平 得之	秋田風俗十題・リンゴ	1940(昭和15)	板目木版/紙	29.0×40.0	2階 多目的ルーム
27	勝平 得之	秋田風俗十題・はり	1941(昭和16)	板目木版/紙	29.0×40.0	2階 多目的ルーム
28	勝平 得之	秋田風俗十題・まゆだま	1941(昭和16)	板目木版/紙	29.0×40.0	2階 多目的ルーム
29	勝平 得之	秋田風俗十題・ささまき	1942(昭和17)	板目木版/紙	29.0×40.0	2階 多目的ルーム
30	勝平 得之	秋田風俗十題・みづき	1943(昭和18)	板目木版/紙	29.0×40.0	2階 多目的ルーム
31	勝平 得之	秋田風俗十題・かきだて	1943(昭和18)	板目木版/紙	29.0×40.0	2階 多目的ルーム
32	佐々木 英	蒔絵彩切貝水指「秋の日」	1978(昭和53)	キハダ・銅・鮑貝・蒔絵粉・色漆	径15.5×高20.0	2階 多目的ルーム
33	関谷 四郎	赤銅銀銅接合皿	1983(昭和58)	接合・鍛金・赤銅・銀・銅・鍍金	7.0×30.0×30.0	2階 多目的ルーム
34	佐々木裕久	地の華-凍結した夜-	1972(昭和47)	紙本着色	120.0×165.2	2階 学習室②
35	高橋 萬年	銀座尾張町	1928(昭和3)	紙本着色	98.5×145.5	2階 学習室②
36	横山 津恵	雪ぐに早春	1988(昭和63)	紙本着色	45.5×52.0	2階 学習室②
37	小杉 放菴	黒真珠	—	紙本着色	46.3×55.5	2階 学習室②
38	工藤 甲人	星と鳥	1963(昭和38)	紙本着色	49.7×60.5	2階 学習室②
39	工藤 甲人	連理の木の葉	—	紙本着色	73.0×60.3	2階 学習室②
40	峯田 敏郎	スケッチ「記念撮影ーきのう・きょう・あしたー」	1996(平成8)	和紙、鉛筆・水彩	71.5×53.2	2階 学習室②
41	峯田 敏郎	スケッチ「記念撮影ー私の住んだ街ー」	1996(平成8)	紙、鉛筆・色鉛筆・水彩	53.2×37.1	2階 学習室②
42	佐々木良三	痕跡A	1980(昭和55)	油彩/キャンバス	193.9×162.1	2階 東廊下
43	三浦 明範	朝の祭壇	1989(平成1)	テンペラ・油彩/キャンバス	162.3×130.3	2階 東廊下
44	紺野 五郎	b y e - b y e	1981(昭和56)	油彩/キャンバス	162.1×130.3	2階 東廊下
45	加藤 貞子	人形衆VI	1979(昭和54)	油彩/キャンバス	182.0×227.0	2階 東廊下

「さわる」 (彫刻) やさしくさわってね!

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(縦×横cm)	展示場所
46	野口 裕史	天空伝説「風韻」	2004(平成16)	銅	60.0×160.0×76.0	1階 職員玄関
47	朝倉 文夫	よく獲たり	1946(昭和21)	ブロンズ	51.6×64.0×29.0	2階 多目的ルーム
48	工藤 健	座る女	1988(昭和63)	ブロンズ	73.0×31.0×43.0	2階 多目的ルーム

49	佐藤 忠良	うれ	1959(昭和34)	ブロンズ	23.0×18.0×27.0	2階 多目的ルーム
50	舟越 保武	A N N	1983(昭和58)	ブロンズ	32.0×19.0×25.0	2階 多目的ルーム
51	峯田 敏郎	芝居は終わった	1981(昭和56)	桂	182.0×180.0×60.0	2階 学習室②
52	峯田 敏郎	記念撮影 ーいつもの海ー	1994(平成6)	ブロンズ、紅松	80.0×80.0×80.0	2階 学習室②
53	峯田 敏郎	記念撮影 ー内陸縦貫鉄道・初めての旅ー	2005(平成17)	樺・桂、彩色	124.8×106.5×67.0	2階 学習室②

「あそぶ」 (木のオブジェ) なかよくあそんでね！ あとかたづけもね！

No.	作家名	作品名	展示場所
54	杉山 明博	何ができるかな？円形を用いた自在具	1階 会議室
55	ー	木の砂場	1階 会議室

◇関連記事

テレビ・ラジオ

・AAB秋田朝日放送 11/8

印刷物

・教育あきた 3月号 (No. 740)

出前美術展 ～ARTがエナジウムパークにやってきた～ 中村征夫写真展「ジープ島・海中顔面博覧会」

会 期：2018(平成30)年2月10日(土)～2月25日(日)

主 催：東北電力(株) 能代エナジウムパーク
秋田県立近代美術館

会 場：能代エナジウムパーク カルチャーホール

担 当：三浦直、保泉充、鈴木京

作 品 数：78点

入場者数：1,012名

世界78カ国の海に潜り、海の魅力をさまざまなメディアを通じて報道してきた水中写真の第一人者中村征夫。本展では、直径わずか34mのミクロネシアの小島「ジープ島」をテーマにした作品38点のほか、海の生きものたちのユニークな「顔」をとらえた「海中顔面博覧会」から40点を紹介した。



◆ジープ島・海中顔面博覧会

No.	作品名	サイズ(mm)	場 所	撮影年
1	小さなジープ島	600× 900	ジープ島、ミクロネシア	2007
2	宝石の島ジープ島	900× 600	ジープ島、ミクロネシア	2007
3	北側はエダサンゴ畑	480× 700	ジープ島、ミクロネシア	2005
4	小島誕生	480× 700	ジープ島、ミクロネシア	2007
5	トビウオの飛翔	480× 700	ジープ島、ミクロネシア	2007
6	空のオブジェ、入道雲	480× 700	ジープ島、ミクロネシア	2005
7	椰子と青空	700× 480	ジープ島、ミクロネシア	2005
8	ぬいぐるみみたいなビキニ	600× 900	ジープ島、ミクロネシア	2007

9	半水面で眺めるジープ島	600× 900	ジープ島、ミクロネシア	2007
10	疾走するイルカ	900× 600	ジープ島、ミクロネシア	2007
11	束の間のふれ合い	600× 900	ジープ島、ミクロネシア	2007
12	海は止まらない	900× 600	ジープ島、ミクロネシア	2007
13	魚群の往来	480× 700	ジープ島、ミクロネシア	2005
14	サンゴに依存する	480× 700	ジープ島、ミクロネシア	2005
15	遊び心を持つ海	700× 480	ジープ島、ミクロネシア	2007
16	シマハギ出現	600× 900	ジープ島、ミクロネシア	2007
17	花火のような美しさ	900× 600	ジープ島、ミクロネシア	2005
18	マジリアイゴ	360× 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
19	オレンジフィンアネモネフィッシュ	360× 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
20	キンチャクフグ	360× 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
21	フォックスフェイス	360× 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
22	ソフトコーラルの群生	900× 600	ジープ島、ミクロネシア	2007
23	キンセンイシモチ	360× 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
24	セグロチョウチョウウオ	360× 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
25	旅人の置き土産	360× 540	ジープ島、ミクロネシア	2005
26	5ミリのカニ	360× 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
27	ミクロネシアンミツスイ	360× 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
28	アジサシのヒナ	360× 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
29	スコール襲来	600× 900	ジープ島、ミクロネシア	2007
30	浮上前に見たスコール	480× 700	ジープ島、ミクロネシア	2007
31	シノトリペル	480× 700	ジープ島、ミクロネシア	2007
32	自然のダイナミズムに感動	360× 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
33	夕焼けに浮かぶジープ島	360× 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
34	天の川	700× 480	ジープ島、ミクロネシア	2007
35	星座浴	600× 900	ジープ島、ミクロネシア	2007
36	一日の始まり	480× 700	ジープ島、ミクロネシア	2005
37	キミシマ環礁	600× 900	ジープ島、ミクロネシア	2007
38	虹のかけ橋	600× 900	ジープ島、ミクロネシア	2005
39-78	海中顔面博覧会	各345× 345		

◇関連記事

なし

●ネットワーク推進事業（共催：秋田県立近代美術館、秋田県立図書館）

ネットワーク事業 第1期
没後10年 横山津恵

会場：秋田県立図書館 2階特別展示室
会期：2017(平成29)年9月30日(土)～10月19日(木)
20日間（休館日10月4日・10月18日）
展示作品：日本画家・横山津恵の没後10年にあたり、初期から晩年にかけての
作品を中心に、関連書籍や資料を展示。
ギャラリートーク：10月1日(日)①11:00～11:30 ②14:00～14:30（担当：藤井）
担当：藤井正輝・木村雅洋
入場者数：3,130名



作品（秋田県立近代美術館所蔵）

No	作家名	作品名	制作年月日	材質・技法	寸法 (cm)
1	横山 津恵	髪	1947（昭和22）	紙本着色	88.0 × 57.4
2	横山 津恵	椅子	1950（昭和25）	紙本着色	149.0 × 170.0
3	横山 津恵	花野	1963（昭和38）	紙本着色	151.5 × 75.9
4	横山 津恵	犬っこ市	1966（昭和41）	紙本着色	151.5 × 76.4
5	横山 津恵	なまはげのくる日	1969（昭和44）	紙本着色	151.7 × 75.5
6	横山 津恵	双生	1971（昭和46）	紙本着色	105.0 × 105.0
7	横山 津恵	花埋み	1974（昭和49）	紙本着色	103.0 × 102.9
8	横山 津恵	野	1976（昭和51）	紙本着色	97.0 × 103.2
9	横山 津恵	珊瑚礁Ⅴ	1981（昭和56）	紙本着色	145.5 × 69.7
10	横山 津恵	沖縄の踊り子	1979（昭和54）	紙本着色	97.5 × 103.3
11	横山 津恵	裸婦	1985（昭和60）	紙本着色	97.1 × 102.1
12	横山 津恵	風の声	1988（昭和63）	紙本着色	91.0 × 60.6
13	横山 津恵	花籠	1990（平成 2）	紙本着色	88.5 × 102.5
14	横山 津恵	夕月の巴里	1991（平成 3）	紙本着色	143.9 × 69.0
15	横山 津恵	エレエヌ	1991（平成 3）	紙本着色	91.0 × 60.6
16	横山 津恵	続エレエヌ	1992（平成 4）	紙本着色	65.2 × 100.0
17	横山 津恵	燈燐ふたたび	1993（平成 5）	紙本着色	96.0 × 106.0

資料（1～8：秋田県立図書館所蔵、9：秋田県立近代美術館所蔵）

No	書 名	出版年	著 者	出版者
1	秋田を活かす25人	1989（平成元）	鷲尾三郎	秋田文化出版社
2	描かれた秋田展図録	2007（平成19）	秋田県立近代美術館	秋田県立近代美術館
3	横山津恵画 花売り娘色紙	1961（昭和36）	横山津恵	
4	横山津恵画集 燈燐ふたたび	1994（平成 6）	横山津恵	大日本絵画
5	横山津恵展 風薫る、花香る、ビーナス	2008（平成20）	秋田県立近代美術館	秋田県立近代美術館
6	横山津恵日本画展 北国の叙情を謳うカラリスト	1993（平成 5）	秋田県総合生活文化会館	秋田県総合生活文化会館
7	恵花会 第25回展作品集	1992（平成 4）	恵花会	恵花会
8	創立40周年記念誌 恵花会	2002（平成14）	恵花会	恵花会
9	横山津恵使用日本画画材			

◇関連記事

印刷物
・秋田魁新報 9/29、9/30
・河北新報 10/16

ネットワーク事業 第2期

絵画×物語 ～描かれたストーリー～

会場：秋田県立図書館 2階特別展示室
 会期：2017(平成29)年12月16日(土)～2018(平成30)年1月29日(月)
 36日間(休館日12月28日～1月3日、1月10日)
 展示作品：2016年度に開催した企画展「絵画×物語 描かれたストーリー」
 の内容を凝縮した内容とした。図書館の資料と併せて作品解説を
 おき、絵画に描かれた物語の世界を楽しんでいただける内容と
 した。
 ギャラリートーク：1月15日(日)①11:00～11:30 ②14:00～14:30(担当：奈良)
 担当：奈良 香・木村雅洋
 入場者数：3,715名



作品（秋田県立近代美術館所蔵）

No	作家名	作品名	制作年	材料技法等	寸法 (cm)
1	福田豊四郎	絵本『夕鶴』原画(10点)	1951(昭和26)	水彩、紙 額装	30.8×42.6
2	勝平 得之	橡ノ木の話版画集(16点)	1942(昭和17)	木版、紙 額装	各15.0×21.1
3	辻 九皐	秋聲賦意	1898(明治31)	絹本着色軸装	98.0×42.0
4	加藤 雪窓	知音	1897(明治30)	絹本着色軸装	145.0×71.0
5	小杉 放菴	雀の御宿	制作年不詳	紙本墨画淡彩軸装	39.0×43.0
6	平福 百穂	芳池育鱗	1921(大正10)	紙本墨画淡彩軸装	48.0×59.0
7	平福 穂庵	祐天上人霊夢	1889(明治22)	絹本着色軸装	123.0×53.0
8	山村 耕花	お七吉三	1910年代(大正初期)	絹本着色軸装	各126.0×42.0
9	小川 芋銭	草汁翁作海坊主	制作年不詳	紙本墨画軸装	径60.6

資料（秋田県立図書館所蔵）

	著者	書名	出版年	出版者	備考
1	福田文、武埴林太郎／監修	福田豊四郎素描集	1982(昭和57)	秋田魁新報社	
2	秋田県立近代美術館／編	福田豊四郎とその時代 創造美術をつくった人々	2000(平成12)	秋田県立近代美術館	
3	木下順二／著	木下順二作品集1 夕鶴	1978(昭和53)	未来社	「夕鶴」
4	富木友治／著 勝平得之／版画	橡ノ木の話	1981(昭和56)	翠楊社	
5		中国古典文学大系23 (漢・魏・六朝・唐・宗散文 選) ……欧陽脩「秋聲賦」	1970(昭和45)	平凡社	「秋聲賦」
6		新釈漢文体系22(列子) …湯問第5第12章	1967(昭和42)	明治書院	「知音」
7	出光美術館／編	小杉放菴		出光美術館	
8	朝日新聞社文化企画局 大阪企画部／編	生誕120年記念 平福百穂展	1997(平成9)	朝日新聞社	
9		穂庵・広業・百穂展	1969(昭和44)	秋田魁新報社	
10	小川芋銭／画	河童百画	2007(平成19)	茨城県立歴史館	
11		新釈漢文体系8(莊子) …秋水篇(外篇)	1967(昭和42)	明治書院	「草汁翁作 海坊主」

◇関連記事

印刷物

・秋田魁新報 12/22

● “ふれんどリーギャラリー”を活用した 学校による展示事業

子どもたちの活躍の場として、多様な鑑賞体験の場として、美術教育の取組を
交流する場として、美術館に子どもたちの作品などを展示する事業である。

今年度は、利用希望の学校がなかった。

“ふれんどリーギャラリー”を活用した
学校による展示事業

参加校
募集！

- 対象 県内の各小・中・高等学校・特別支援学校
- 会場 秋田県立近代美術館5階ふれんどリーギャラリー
- 期間 1ヶ月間

子どもたちの活躍の場として
多様な鑑賞体験の場として
美術教育の取組を交流する場として
美術館に子どもたちの作品などを展示する事業である

〓お申込み方法〓
①電話で申し込み、展示の段取りを確認
②申し込み、申し込み完了後、展示の段取りを確認
③展示開始1ヶ月前までお申込みください

秋田県立近代美術館
TEL 0182-33-0855 FAX 0182-33-0858

●美術館のセカンドスクールの利用

◇概況

	セカンドスクールの利用											総利用 学校数	総利用 人 数	
	幼・保育園		小学校		中学校		特別支援学校		高等学校		その他			
	園数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	団体数			(人数)
4月	0	(0)	0	(0)	1	(7)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	1	7
5月	0	(0)	8	(279)	11	(300)	0	(0)	1	(186)	0	(0)	20	765
6月	2	(44)	16	(622)	2	(70)	1	(13)	0	(0)	3	(48)	24	797
7月	0	(0)	8	(278)	1	(6)	0	(0)	0	(0)	2	(97)	11	381
8月	0	(0)	1	(24)	1	(9)	0	(0)	4	(27)	1	(14)	7	74
9月	0	(0)	3	(106)	0	(0)	2	(66)	0	(0)	1	(26)	6	198
10月	0	(0)	8	(268)	1	(31)	1	(18)	1	(43)	0	(0)	11	360
11月	1	(36)	20	(768)	6	(218)	1	(13)	0	(0)	0	(0)	28	1, 035
12月	0	(0)	3	(100)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	3	100
1月	0	(0)	1	(29)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	1	29
2月	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	0
3月	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	0
小計 合計	3園 (80人)		68校 (2, 474人)		23校 (641人)		5校 (110人)		6校 (256人)		7団体 (185人)		園・校・団体*のべ数	
	105校 (3, 561人)												112校	3, 746人

平成28年度	119校 (3,134人)	119	3,134人
平成27年度	147校 (5,279人)	147	5,279人
平成26年度	123校 (3,620人)	123	3,620人
平成25年度	102校 (4,097人)	102	4,097人

◇利用校

平成 29 年度セカンドスクール利用校一覧

金沢保育園	大川西根小学校	十文字第一小学校	羽後明成小学校	横手明峰中学校
認定こども園こひつじ	太田南小学校	十文字第二小学校	西馬音内小学校	湯沢北中学校
神代子ども園	太田東小学校	植田小学校	三輪小学校	羽後中学校
旭川小学校	太田北小学校	睦合小学校	東成瀬小学校	能代西高等学校
石沢小学校	豊岡小学校	吉田小学校	泉中学校	能代高等学校
子吉小学校	白岩小学校	浅舞小学校	男鹿北中学校	大曲高等学校
花館小学校	角館小学校	醍醐小学校	西仙北中学校	横手高等学校(定時制)
東大曲小学校	神代小学校	雄物川小学校	南外中学校	増田高等学校
四ツ屋小学校	桧木内小学校	大森小学校	神代中学校	若柳中学校(宮城県)
高梨小学校	西明寺小学校	大雄小学校	西明寺中学校	宮城野高等学校(宮城県)
清水小学校	六郷小学校	湯沢西小学校	桧木内中学校	横手支援学校
神岡小学校	仙南小学校	湯沢東小学校	横手南中学校	稲川支援学校
角間川小学校	旭小学校	三梨小学校	平鹿中学校	フレッシュ広場
横堀小学校	栄小学校	駒形小学校	山内中学校	南かがやき教室
内小友小学校	増田小学校	川連小学校	増田中学校	西かがやき教室
藤木小学校	山内小学校	雄勝小学校	十文字中学校	

※教育課程外での利用：中学校7校127人、特別支援学校1校13人、短大等2校124人、公民館6団体177人〔計16校・団体441人〕

◇利用の位置付け（教科等）

・図画工作科、美術科、生活科、社会科、芸術等の各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動

◇ 内 容

- ・鑑賞体験…「展覧会の見どころ(特別展)」「トークで鑑賞(コレクション展)」「美術館探検」「彫刻探検」
- ・制作体験…「大画面に描こう」「こなからつちねんどをつくろう」「版画を楽しもう」「いろんな画材で楽しもう」「顔彩と墨で描こう」、その他、特別展と関連した制作 等
- ・探究・職業体験…「ふるさと秋田の作家や作品について調べよう」「美術館の仕事を体験しよう」等

◇ キンビ・アートカード 利用数

- ・小学校3校、中学校1校、総合教育センター 計5団体(28セット)

●博物館実習

期間：2017(平成29)年9月1日(金)～6日(水) 6日間

実習生所属大学及び人数

秋田公立美術大学1名、女子美術大学1名、東北芸術工科大学1名

※同期間中にインターンシップ 山形大学1名

◆実習内容

期日	実習内容
9月1日(金)	オリエンテーション、施設見学、教育普及事業(鑑賞活動)講座・演習、ギャラリートークのための資料調査
9月2日(土)	受付・監視業務補助、展示に関する実習(展示に関する講話、作品ラベル作成等)、収蔵品に関する実習①(作品撮影)
9月3日(日)	教育普及活動(美術館教室)補助、ギャラリートークのための資料調査
9月4日(月)	野外彫刻清掃、ギャラリートークのための資料調査
9月5日(火)	ギャラリートーク実習、収蔵品に関する実習②(作品取扱・保存について)
9月6日(水)	美術館の広報活動、実習反省会・資料のまとめ

●美術館ボランティア (AMC ‘アムック’ Akita Museum Cooperator)

秋田県立近代美術館におけるボランティア活動は、生涯学習振興の考えに基づいて導入された。美術館でのボランティア活動を通して、会員が美術に対する愛好心と知識を深めるとともに、県民と美術館の架け橋として主体的に活動することを目指している。

活動は、1カ月に1日(又は半日を2回)程度の活動日を各個人が定め、1年間継続することを原則としている。活動内容は、展示室活動、案内活動、事務補助活動、配布活動、野外彫刻清掃活動、イベント活動、自己研修などの他、会員への毎月の会報作成や、交流会、他美術館等における研修なども行っている。新会員については、事前に館職員と AMC 役員によるオリエンテーションを行うなどして活動をサポートしている。

◆会員数・活動内容

1 会員数 63名 (3月1日現在)

2 活動内容

① 展示室活動・案内活動

i 館内案内、誘導 (館内各施設、順路ほか)

- ・身障者、老人、子供対応
- ・団体の整理、誘導

ii 美術館での鑑賞マナーの普及活動

iii 資料配付 (リーフレット、作品解説チラシほか)

iv 質問対応 (展示資料、美術館の概要、観光、道路、交通機関など)

② 事務補助活動

i 印刷物発送準備作業 (ポスター、チラシ、美術館ニュースほか)

ii 図書・新聞等の資料整理

③ 自己研修

i ハイビジョン鑑賞 (番組、データベース)

ii 館蔵作品の調査研究等 (図書資料室)

iii 鑑賞学習会 (ギャラリートーク、ワークショップ等への参加)

④ その他の活動

i ふるさと村内での P R 活動 (展覧会・付帯事業)

ii ミュージアムコンサート等の手伝い

iii 講演会準備の手伝い

iv 野外彫刻の清掃

v 印刷物 (AMC 通信など) の作成・発行

◆おもな関連行事

① 鑑賞学習会 (特別展4本、企画展1本、コレクション展4本で各1～2回)

② 役員会 (13回)

③ 講演会・美術館講座・コンサートへの参加

④ 交流会 (6/18)

⑤ 研修旅行 (9/17 えさし郷土文化館、えさし藤原の郷、めんこい美術館「世界のアゲハチョウ」、国立天文台水沢キャンパス、奥州宇宙遊学館「4次元デジタル宇宙シアター」)

⑥ 新会員オリエンテーション (随時)

⑦ 総会 (2018. 4/15 予定)

収集事業

収集方針

- ①秋田蘭画・初期洋風画作品や資料
- ②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品
- ③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④当館の収集作品としてふさわしい内外の作品や資料

●美術品収集

◆美術品等収集状況(平成29年度末まで) ※平成27年度末に種別・写真登録数の訂正を行った。

種 別	県美術品取得基金	優秀美術作品収集事業	寄 贈	他施設から所管換	合 計
秋 田 蘭 画	6	0	1	5	12
東 洋 画	0	0	1	1	2
日 本 画	221	31	210	183	645
洋 画	51	147	197	75	470
版 画	11	60	285	67	423
水 彩 画	0	1	9	0	10
彫 刻 芸	121	12	68	4	205
工 芸	29	0	10	1	40
デ ザ イ ン	0	0	16	6	22
書	13	7	213	2	235
写 真	3	0	219	0	222
素描・下絵等	20	0	204	9	233
国内その他資料	5	0	131	5	141
外 国 版 画	0	0	0	2	2
外 国 彫 刻	7	0	0	1	8
外国映像資料等	1	0	2	0	3
合 計	488	258	1,566	361	2,673

◆2017(平成29)年度収集

種 別	県美術品取得基金	寄 贈	他施設から所管換	合 計
日 本 画	2	1	2	5
洋 画	0	2	2	4
写 真	0	5	0	5
合 計	2	8	4	14

県美術品取得基金による購入

No	種 別	作者名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (cm)
1	日本画	福田豊四郎	田園七曜集 (土拓く)	1934(昭和9)	紙本着色額装	66.6× 70.5
2	日本画	福田豊四郎	月夜	1954(昭和29)	紙本着色4曲1隻	166.7×257.5

寄贈による収集

No	種 別	作者名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (cm)
1	日本画	寺沢孝太郎	魚 (不明)	—	紙本着色軸装	136.3× 32.7
2	洋画	大原 省三	座像 (深味貞治)	—	油彩・キャンバス	145.2× 97.5
3	洋画	大原 省三	座像 (深味貞治)	—	油彩・キャンバス	81.4× 65.0
4	写真	大野源二郎	雪国 (10点組)	1986(昭和61)他	ゼラチン・シルバー・プリント	21.6× 30.3
5	写真	大野源二郎	湯治場の老婆	1959(昭和34)	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6× 26.5
6	写真	大野源二郎	仁王路	1988(昭和63)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.4× 21.5
7	写真	大野源二郎	横手のかまくら	1962(昭和37)	ゼラチン・シルバー・プリント	34.9× 24.8
8	写真	大野源二郎	授乳	1954(昭和29)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0× 21.5

他施設より所管換

No	種 別	作者名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (cm)
1	日本画	櫻庭藤二郎	溪	1979(昭和54)	紙本着色額装	106.0×106.0
2	日本画	佐々木裕久	地の華 (破)	1979(昭和54)	紙本着色額装	62.2× 90.2
3	洋画	佐藤 文雄	花の室	—	油彩・キャンバス	130.3× 97.0
4	洋画	田宮 進	アンサンブル	1959(昭和34)	油彩・キャンバス	130.3× 97.0

●図書資料

※平成29年度新収図書登録期間（平成29年3/16～平成30年3/15）

分 類	平成29年度新収図書	分類別合計
一般図書		
美術総記	24	1,790
日本美術	44	2,855
西洋美術	0	689
東洋、その他の美術	0	153
秋田資料	5	581
関係諸学	7	939
所蔵品図録、研究報告、年報	177	5,322
展覧会図録	216	8,630
美術雑誌他	67	7,313
計	540	28,272

●美術品保存・修復

◆野外彫刻のメンテナンス

実施期日：2017(平成29)年4月17日(月)～4月28日(金)

野外彫刻29体について下記の通りに、作品の彫刻本体、台座及びプレート洗浄、コーティング等のメンテナンスを行った。

No	作家名	作品名	修復内容
1	朝倉 響子	ローリー	高圧洗浄、色落部下地ならし 補色、着色ウレタンコーティング
2	安藤 泉	好奇心	高圧洗浄及び鳥の巣除去、プレート黒色入磨き
3	フラナガン	鐘の上で跳びはねる野兎	高圧洗浄、色落部下地ならし後 ローワックスコーティング
4	柳原 義達	道標・鴉	高圧洗浄、下地ならし後着色、ウレタンコーティング、 プレート色入磨き
5	柳原 義達	風の中の鴉	高圧洗浄、下地ならし後着色、ウレタンコーティング、 プレート色入磨き
6	黒川 晃彦	フラワーソング	高圧洗浄、下地ならし後着色、ウレタンコーティング、 プレート色入磨き
7	簗内佐斗司	犬も歩けば・IN AKITA	高圧洗浄、蜂の巣枯葉除去、補色・着色 ウレタンコーティング、プレート色入磨き
8	相川善一郎	声良鶏	高圧洗浄、着色ウレタンコーティング、 プレート色入磨き
9	雨宮 敬子	想 秋	高圧洗浄、下地ならし補色、 着色ウレタンコーティング
10	高田 洋一	白い羽音	高圧洗浄、ステンレス部の油フキ取り磨き
11	堀口 泰造	平和が来る	高圧洗浄、黄砂除去、着色ローワックスコーティング、 プレート色入磨き
12	小田 襄	円形の記憶	高圧洗浄、汚れ溜まり手洗い磨き
13	工藤 健	愛の変容	高圧洗浄、下地ならし補色、

				着色ウレタンコーティング、プレート色入磨き
14	建 昌	覚 造	WAVING FIGURE	高压洗浄、プレート色入磨き
15	峯 田	敏 郎	記念撮影－五月のかたち－	高压洗浄、着色ローワックスコーティング、プレート色入磨き
16	三 木	富 雄	E A R	高压洗浄による汚染除去、プレート色入磨き
17	内 田	晴 之	異・空間 1993	高压洗浄、落色(赤)の塗料補色、プレート色入磨き
18	堀 口	泰 造	カルメン	高压洗浄剥脱部の補色、着色ウレタンコーティング、プレート名入磨き
19	淀 井	敏 夫	ローマの公園	高压洗浄、着色ローワックスコーティング、プレート色入磨き
20	笹 戸	千津子	シャツブラウス	高压洗浄、補色、着色コーティング、プレート色入磨き
21	岩 野	勇 三	に け	高压洗浄、落色部下地ならし 着色ウレタンコーティング、プレート色入磨き
22	高 田	博 厚	水 浴	高压洗浄、着色ローワックスコーティング、プレート色入磨き
23	清 水	九兵衛	登 甲	プレート色(黒)入れ・磨き
24	安 藤	泉	大地の鼓動	プレート色(黒)入れ・磨き
25	遠 藤	洪平六	こんにやく 石 －浮遊する虚体’93－ I	プレート色(黒)入れ・磨き
26	安 藤	泉	悠久 (ラクダ)	プレート色(黒)入れ・磨き
27	下 川	昭 宣	天空伝説「来訪者」	プレート色(黒)入れ・磨き
28	千 葉	精 一	祈念童子・童女	高压洗浄
29	工 藤	健	憩えるマンドーラ	高压洗浄

●重要文化財等指定

国指定重要文化財

No.	指定年月日	名 称	備 考
1619	昭和43. 4. 25	絹本著色不忍池図（小田野直武筆） 1 面	
1971	平成11. 6. 7	絹本著色唐太宗花鳥図（小田野直武筆） 3 幅	

秋田県指定有形文化財

No.	指定年月日	名 称	備 考
9	昭和32. 4. 4	絹本著色芍薬花籠図（小田野直武筆） 1 幅	
17	昭和53. 2. 14	小田野直武筆写生帖 1 冊	
19	昭和57. 1. 12	鶴之図（沈南蘋筆） 2 幅対	
21	平成16. 3. 19	紙本着色ファン・ロイエン筆 花鳥図模写 1 幅	
22	平成17. 3. 22	平福穂庵 乳虎 1 幅	
23	平成20. 3. 21	寺崎廣業筆 高山清秋 6 曲 1 双	
24	平成20. 3. 21	平福百穂筆 春山 1 幅	
25	平成23. 3. 22	小田野直武筆 富嶽図 1 幅	
6	平成28. 3. 25	白雲筆 奥州街道並羽州街道風景図 1 帙 2 帖	

●地方創生拠点整備交付金事業(リノベーション事業)

実施時期：2017年(平成29年)12月28日(木)～2018年(平成30年)3月23日(金)

※休 館：2018年(平成30年)2月1日(木)～3月31日(土)

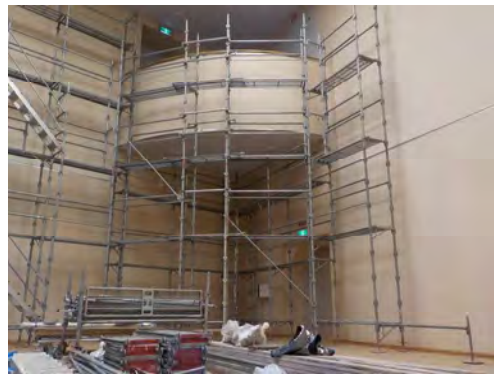
発 注 者：仙北地域振興局

設 計 者：(株)MC A建築設計

施工業者：伊藤建設工業(株)、(有)山中電機、NHKエンジニアリングシステム

実施内容：① 5階展示室 → 壁クロス張り替え、展示ケース内照明LED改修
② 6階展示室 → 壁クロス張り替え
③ ハイビジョンギャラリー → モニター改修、展示パネル設置、天井照明LED改修
④ ふれんどりーギャラリー → 掲示クロス設置、遮光フィルム貼り付け
⑤ キッズルーム → カウンター撤去、床シート・カーペット改修
⑥ その他 → 監視カメラ・モニター増設

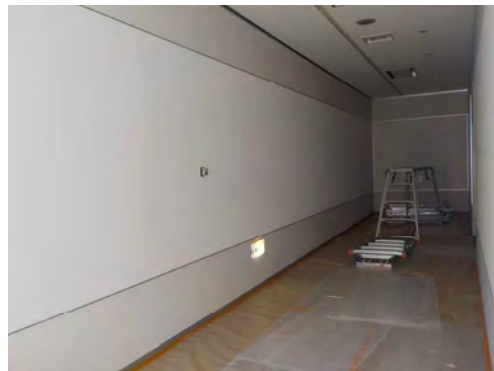
老朽化で劣化していた展示環境を向上させるため、開館以来初の大規模改修を実施。3月23日改修工事完了。



①・② 5、6階展示室の壁クロス張り替えの様子



③ ハイビジョンのモニター交換



④ ふれんどりーギャラリークロス設置



⑤ キッズルームのカウンター撤去と、床シート・カーペット設置



中央監視装置改修工事(県単庁舎営繕工事)

実施時期：2017年(平成29年)10月2日(月)～2018年(平成30年)3月9日(金)

発注者：仙北地域振興局

設計者：(有)山下建築設備設計事務所

施工業者：平鹿設備工業(株)

実施内容：老朽化で保守対応も困難となった同装置を更新し、適切な空調管理をするために改修工事を実施。
3月9日改修工事完了。

屋上防水改修工事(県単庁舎営繕工事)

実施時期：2016年(平成28年)9月5日(月)～2016年(平成28年)12月22日(木)

発注者：仙北地域振興局

設計者：(有)ミツイ設計

施工業者：伊藤建設工業(株)

実施内容：老朽化で剥離の激しい屋上防水シートを貼り直し、展示室への漏水を未然に防ぐために改修工事を実施。12月22日改修工事完了。

美術品の貸し出し

No.	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	展覧会名
1	田宮 進	1. 微風の海景	秋田県総務部秘書課	H21. 8/5～H30. 8/4	知事公舎に展示
2	伊藤 弥太	1. 田園の秋	秋田県総務部秘書課	H22. 4/1～H30. 3/31	副知事室への展示
3		2. 北浦風景			
4	河村千代三	1. 南風	秋田県総務部秘書課	H24. 2/24～H30. 2/23	公舎玄関に展示
5	堀川達三郎	1. 暮譜	秋田県議会事務局	H29. 4/1～H30. 3/31	議長室、副議長室
6	小西正太郎	2. つるばら			
7	福田豊四郎	1. 鳥海山	秋田県総務部秘書課	H29. 4/1～H30. 3/31	第一応接室に展示
8 ～ 11	藤田 嗣治	1. 横臥裸婦 他3点	(株)キュレーターズ	H. 28. 9/1～H29. 9/8	「レオナール・フジ タとモデルたち」
12	福田豊四郎	1. 平原	一般社団法人創画会	H29. 3/1～H30. 3/31	「創画会70周年 記念展」
13	佐々木裕久	2. 冬の蜃気楼			
14	堀 文子	1. 廃墟	一般財団法人林美術 財団 名都美術館	H29. 3/14～6/ 7	「白寿記念 堀文子 展」
15		2. 八丈島風景			
16	勝平 得之	1. <秋田風俗十題>ささまき	秋田県総務部秘書課	H29. 3/28～5/27	副知事室への展示
17		2. <農民風俗十二ヶ月>早乙女(5月)			
18	勝平 得之	1. <秋田十二景>長堤早春	秋田県総務部秘書課	H29. 5/28～7/27	副知事室への展示
19		2. <農民風俗十二ヶ月>除草(6月)			
20 ～ 29	勝平 得之 他	1. ナマハゲ(男鹿) 他 10点	秋田県立博物館	H29. 6/20～9/15	平成29年度秋田県立 博物館特別展「妖怪 博覧会～秋田にモノ ノケ大集合！」
30	勝平 得之	1. <秋田十二景>夜の秋田大橋	秋田県総務部秘書課	H29. 7/28～9/27	副知事室への展示
31		2. <秋田風俗十態>草市			
32	藤田 嗣治	1. オペラ座の夢	(株)キュレーターズ	H. 29. 9/1～11/30	「レオナール・フジ タとモデルたち」
33 ～ 42	平福 百穂	1. 法然上人 他 10点	角館町平福記念美術館	H29. 9/20～11/30	企画展「生誕140年平 福百穂日本画展－画 人百穂と歌人百穂－」
43	勝平 得之	1. <秋田風俗十態>ドット	秋田県総務部秘書課	H29. 9/28～11/27	副知事室への展示
44		2. <秋田十二景>草生津川の秋			
45	堀 文子	1. 廃墟	神奈川県立近代美術館	H29. 11/1～H30. 3/30	「白寿記念 堀文子 展」
46		2. 八丈島風景			
47	加藤 貞子	1. 人形衆	財団法人 平野政吉 美術財団	H29. 11/12～H30. 1/13	「反転するいのち－ 少女と人形の間」
48		2. 石の雨が降る(寄託品)			
49	小田野直武	1. 岩に牡丹図	秋田市立千秋美術館	H29. 11/13～H30. 3/16	「秋田蘭画と寿ぎ の美」
50	勝平 得之	1. <秋田十二景>一丁目橋雪景	秋田県総務部秘書課	H29. 11/28～H30. 1/27	副知事室への展示
51		2. 雪国の市場			
52	勝平 得之	1. <秋田十二景>雪の湖月濠	秋田県総務部秘書課	H30. 1/28～3/27	副知事室への展示
53		2. <秋田風俗十態>彼岸花			
54	勝平 得之	1. <秋田十二景>鐘楼余景	秋田県総務部秘書課	H30. 3/28～5/27	副知事室への展示
55		2. <農民風俗十二ヶ月>種まき(4月)			

調査・研究業績

仲町啓子

- 講座 美術館講座「館長講座」ー古代の人々の祈りと造形ー、 秋田県立近代美術館、2017年5月～11月まで7回
講座 特別講座「古代の人々の祈りと造形 ～縄文時代から天平時代まで～」 秋田県生涯学習センター、
2018年2月16日

保泉 充

- 講座 明快！Artゼミ「Ippin！明治工芸の粋を楽しむ」 秋田県生涯学習センター、2017年9月29日
講座 県庁出前講座「あきたの美術ー日本画家横山津恵」 能代市立図書館、2018年2月18日
作品解説 「精緻を極めた美（１）「逸品明治工芸の至宝展」 鐔に煙管図提筆筒」『秋田魁新報』 2017年10月4日
作品解説 「精緻を極めた美（２）「逸品明治工芸の至宝展」 花蝶図香合」『秋田魁新報』 2017年10月11日
作品解説 「精緻を極めた美（５）「逸品明治工芸の至宝展」 蜜柑」『秋田魁新報』 2017年11月8日
作品解説 「精緻を極めた美（６）「逸品明治工芸の至宝展」 黄釉銹絵梅樹図大瓶」『秋田魁新報』
2017年11月15日

西野美佳

- 作品解説 「ギャラリーと～く スズキコージ・ヤッホーホイホー展」『秋田魁新報』 2017年4月19日
発表 平成29年度 北海道・北東北美術教育研究会「美術館を活用した美術館教育に関する実践」
青森県立美術館 2017年6月15日、16日
資料作成 「キンビ・セカンドスクールプログラム」 秋田県立近代美術館、2017年

木村雅洋

- 実技講座 みんなの教室「Go！Go！走るぞ！木のクルマ！」 2017年8月6日

藤井正輝

- 実技講座 きつずあーと「どろどろアート」 2017年10月15日
作品解説 第1期ネットワーク事業「没後10年 横山津恵」ギャラリートーク 秋田県立図書館、2017年10月1日

奈良 香

- 講座 明快！Artゼミ「国立西洋美術館所蔵 ミューズ：まなざしの先の女性たち」
秋田県生涯学習センター、2017年7月20日
講座 県庁出前講座「あきたの美術」 小坂町交流センターセパーム、2017年10月25日
論考 「秋田出身の近代画家・橘小夢 作品調査から展覧会開催まで」 『出羽路』158号、
秋田県文化財保護協会
作品解説 「アルカディアと女性たち」『ミューズ(芸術の女神)：まなざしの先の女性たち』展覧会図録 pp. 71-80
作品解説 「国立西洋美術館所蔵品展 女神たちの美 秋田に舞い降りる①～⑤」『秋田魁新報』
2017年7月10日～14日
作品解説 第2期ネットワーク事業「絵画×物語」ギャラリートーク 秋田県立図書館、2018年1月15日

小林紀子

- 実技講座 きつずあーと「びしゃびしゃアート」 2017年8月20日
作品解説 「ギャラリーと～く（下）生誕100年 千葉禎介写真展」『秋田魁新報』 2018年1月17日
作品解説 『生誕100年 千葉禎介写真展』 秋田県立近代美術館、2017年12月2日発行

鈴木 京

- 講座 県庁出前講座「あきたの美術～Femme 女性のすがた展」 秋田県立近代美術館6階研修室、
2017年7月27日
講座 明快！Artゼミ「農村を見つめて ～千葉禎介の写真、その魅力～」 秋田県生涯学習センター、
2017年12月8日
作品解説 「精緻を極めた美（３）「逸品明治工芸の至宝展」 獅子図」『秋田魁新報』 2017年10月18日
作品解説 「精緻を極めた美（４）「逸品明治工芸の至宝展」 蓮皿に蛙」『秋田魁新報』 2017年11月1日
作品解説 「ギャラリーと～く（上）生誕100年 千葉禎介写真展」『秋田魁新報』 2018年1月10日
作品解説 「生誕100年 千葉禎介写真展」『河北新報』 2018年1月18日
図録作成 『生誕100年 千葉禎介写真展』 秋田県立近代美術館、2017年12月2日発行

高橋英憲（秋田県立近代美術館長期研修員）

資料作成 「2017年県内美術展開催一覧（1～12月）」『秋田美術No. 54』（紀要）掲載予定 秋田県立近代美術館

村田詩織

図録作成 『生誕100年 千葉禎介写真展』 秋田県立近代美術館、2017年12月2日発行

刊行物

◆2016年度 秋田県立近代美術館年報 2017年6月発行 A4判 66頁

◆秋田県立近代美術館ニュース『ARK』No. 74 2017年9月発行 A4判 4頁

展覧会レポート：スズキコージ・ヤッホーホイホー展、

国立西洋美術館所蔵 ミューズ(芸術の女神) まなごしの先の女性たち展

2017コレクション展 第1期「没後20年 紺野五郎」、2017コレクション展 第2期「Femme 女性のすがた」

トピックス：Ippin! 逸品 明治工芸の至宝展

：県立近代美術館 休館のお知らせ

インフォメーション：2017年度・下半期の美術館事業

※秋田県立近代美術館ニュース『ARK（アーク）』

秋田県立近代美術館では、展覧会の概要やさまざまな美術館活動などの広報を目的とし、美術館ニュース「ARK」を年2回発行している。（平成20年度よりデザインを親しみやすいものに改変した）「ARK」とは、ラテン語で「箱」を意味する言葉で、『聖書』では、ノアが大洪水から逃れた箱船のことをさす。当館の外観が“空中に浮遊する巨大な箱船”に見えることから命名された。

◆秋田県立近代美術館 休館のお知らせ 2017年10月発行 A4 2頁

◆平成30年度行事案内リーフレット 2018年2月発行 A4 2頁

◆平成30年度キンビ・創作体験プログラム 2018年2月発行 A4 2頁

◆キンビセカンドスクールプログラム 2018年2月発行 A4 4頁

入館状況

平成29年度 月別入館者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入館者数（人）	3,346	6,065	4,375	5,978	8,442	8,272	8,450	6,481	3,500	4,991	1,116	0	61,016

利用者数一覧表

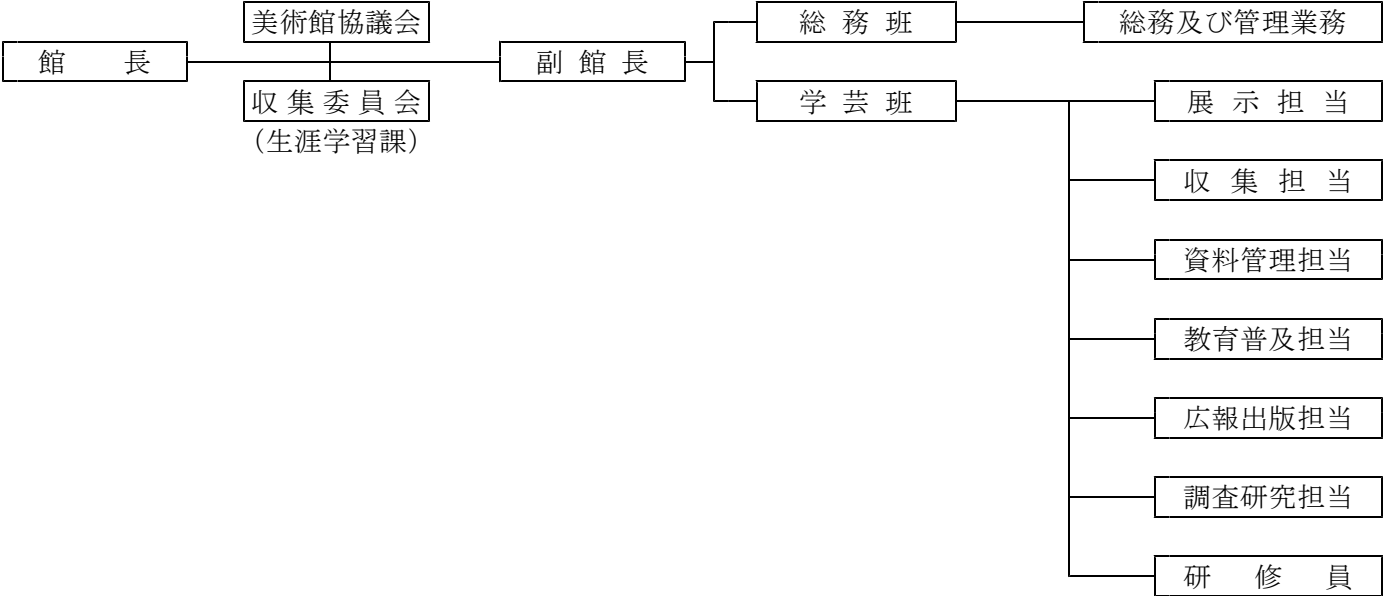
事業別 区分			入館者	特別展入場者					企画展入場者		その他 ※(3)
				スズキコージ展	国立西洋美術館 所蔵品展	明治工芸の 至宝展	千葉禎介写真展	計	絵画×物語 ※(1)2/11～	計	計
開催期間			4/ 1(日)～ 3/31(土)	4/22(土)～ 7/ 8(日)	7/15(土)～ 9/18(月)	9/23(土)～ 11/26(日)	12/ 2(土)～ 1/31(水)		4/ 1(日)～ 4/16(日)		
日数(日)※(2)			293	78	66	65	48	257	16	16	20
利用者数（人）			61,016	6,728	12,211	6,737	2,978	28,654	1,591	1,591	30,771
一日平均（人）			208	86	185	104	62		99		
有料	個人	一般・学生		3,742	9,523	4,432	1,549	19,246	－	0	0
		シルバー		－	－	－	413	413	－	0	0
		身障 一般・学生		134	439	195	－	768	－	0	0
	団体	一般・学生		26	48	128	0	202	－	0	0
	合 計			3,902	10,010	4,755	1,962	20,629	0	0	0

※(1)「絵画×物語 描かれたストーリー」は、平成29年2月11日～平成29年4月16日まで開催。
企画展「横山津恵展」（平成30年1月19日～4月8日）は、改修工事の休館に伴い、次年度へ延期。

※(2) 平成29年12月29日～31日、平成30年1月9日～18日、平成30年2月1日～3月31日は年末、館内メンテナンス、改修工事のため休館。

※(3) その他利用者数30,711人には特別展期間中入館者20,588人、ネットワーク事業（県立図書館）の観覧者6,845人、仙北市立神代中学校
出前美術館の観覧者736人、能代エナジウムパーク 出前美術展の観覧者1,012人、常設展の1,590人等が含まれる。

組 織
組織図



職 員

名誉館長	河野元昭	事務補助職員	本間恵里子
館長	仲町啓子	学芸補助職員	柴田千泰
副館長	三浦卓也	解説	藤田佳奈
副主幹(兼)班長	柴田木賢一		菊地史恵
副主幹	佐々木亨		杏澤美佳
主任学芸主事(兼)班長	茂木泉		佐藤沢香奈
主任学芸主事	保野美佳		藤沢理美
学芸主事	西村雅洋		佐藤彩野
	木藤井良香		原玉友美
	奈林紀子		児川和歌子
	小鈴木京		赤々木瑞穂
	鈴藤正英		佐々木石睦
	伊高		鈴石睦美
技能主任			
研修員			

美術館協議会委員

会長	木村雅美	横手市教育委員会教育指導部学校教育課長
副会長	亀沢修里	小坂町史編さん室長
	浅野壽子	アート教室「森のおと」主宰
	檜尾典稔	公募(イベント会社役員・司会業)
	佐藤裕	横手市立横手南小学校長
	澤谷ゆりか	秋田ふるさと村総務部総務課長
	澁谷和之	澁谷デザイン事務所代表
	松田砂織	えがおの花書道教室代表
	涌井良介	日本放送協会秋田放送局長
	渡辺歩	秋田魁新報社文化部長

建築・設備概要

建築概要

建設地／秋田県横手市赤坂富ヶ沢62-46
敷地面積／164,936.81㎡(秋田ふるさと村)
建築面積／2,947.32㎡
延床面積／11,166.50㎡
構造／鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
地下1階 地上7階 PH1階
設計／株式会社 山下設計東北支社
監理／秋田県土木部営繕課・山下設計東北支社

施工

建築工事／大成・フジタ・三井・伊藤建設工事企業体
空調／ダイダシ・山二建設工事共同企業体
電気／東光電気・伊藤電気建設工事共同企業体
給排水衛生／岡田水道施設工事(株)
受変電／羽後・伊藤電気建設工事共同企業体
弱電／千代田電気工業(株)
昇降機／三菱電機(株)

設備概要

●電気設備

受変電設備／受電電圧3φ 3W 6.6KV 50Hz
設備容量1,500KW
非常用発電設備／ディーゼル発電器(A重油)300KVA200V
蓄電池設備／非常照明・電源設備制御兼用 250Ah×1台
監視設備／中央監視装置：機能分散型DDC方式による集中監視制御
照明設備／蛍光管主体
展示室照明：高演色性蛍光管(調光及び集中点滅制御方式) 外壁照明：無電極ランプ(パターン照明方式)
視聴装置設備／拡声放送・電気時計・身障者トイレ呼出表示・
TV共聴研修室AV装置・ハイビジョンギャラリー4系統(80インチ液晶モニター1台・60インチ液晶モニター3台)ハイビジョンデータベースシステム1系統(32インチ液晶モニター1台)
防犯設備／防犯センサー・ITV装置
防災設備／自動火災装置・防排煙設備

●空調設備

熱源設備／吸収式冷温水発生機2000RT×2台 LPG
焚真空式温水ボイラー80,000Kcal/H×1台
空調設備／ユニット型空調機(還風機組込型)×4台
ユニット型空調機(全熱交換機組込一体型)×5台
ファンコイルユニット天井カセット型×105台
水冷式パッケージ型空調機×6台
空冷式ヒートポンプ型パッケージ×3台
換気設備／第1種及び第3種換気方式
排煙設備／機械排煙及び自然排煙
自動制御設備／機能分散型
燻蒸設備／常圧手動式ユニット型20㎡

●給排水衛生設備

給水設備／上水引込口径75mm 重力給水方式
受水槽24m³ 高置水槽6m³
給湯設備／局所式(電気貯湯式)：各階湯沸室・宿直室ガス
排水設備／建物内：汚水・雑排水・雨水の各分流式
建物外：生活排水はふるさと村施設全体の浄化槽へ導入
ガス設備／ふるさと村施設全体の集中LPG装置より供給
主に空調用熱源のエネルギー源として利用
消火設備／炭酸ガス消火・屋内消火栓

●エレベーター設備

乗用エレベーター	1150kg	105m/分	2台
乗用エレベーター	1150kg	90m/分	1台
荷物用エレベーター	3000kg	45m/分	1台
小荷物用エレベーター	300kg	30m/分	1台

●エスカレーター

展望エスカレーター	9000人/時	30m/分	1分
-----------	---------	-------	----

主な設備

5階展示室(4室) 983.10㎡	収蔵庫(5室)	852.9㎡
(1)260.28㎡	会議室	69.4㎡
(2)293.76㎡	実習室・準備室	135.0㎡
(3)237.13㎡	図書資料室	160.5㎡
(4)191.93㎡	調査研究室	45.5㎡
6階展示室(3室) 786.90㎡	ハイビジョンギャラリー	241.9㎡
(1)255.96㎡	研修室	226.7㎡
(2)293.76㎡	キッズ・ルーム	128.9㎡
(3)237.13㎡		

関係法規

秋田ふるさと村条例（抜粋）

第1章 総 則 （設置）

第1条
秋田県の文化遺産を次代に継承するとともに、郷土の文化を創造する機会を提供し、及び観光レクリエーション活動のための利便の増進を図り、もって県民のゆとりのある文化的な生活の向上に寄与するため、秋田県ふるさと村（以下ふるさと村という）を横手市赤坂字富ヶ沢に設置する。
（業務）
第2条

ふるさと村は、次の表の上欄に掲げる施設の区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる業務その他ふるさと村の設置の目的を達成するために必要な業務を行う。

施 設	業 務
秋田県立近代美術館	県にゆかりある作家の優れた美術作品を中心に収集し、保管し、及び展示し、併せて美術に関する調査研究及び普及活動を行う。

第2章 近代美術館 （近代美術館）

第4条
秋田県立近代美術館（以下「近代美術館」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条に規定する教育機関とする。
（職員）
第5条
近代美術館に事務職員その他の所要の職員を置く。
（近代美術館協議会）

第6条
近代美術館に博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第2項に規定する博物館協議会として、秋田県立近代美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。
2 協議会は、委員10人以内で組織する。
3 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。
一 学校教育及び社会教育の関係者
二 家庭教育の向上に資する活動を行う者
三 学識経験のある者
四 近代美術館の利用者
4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
（入場料等の徴収）

第7条
近代美術館の特別展示室（特別の企画に基づく展示

を行う展示室をいう。以下同じ）に入場する者から、別表第1に定めるところにより、入場料を徴収する。ただし、幼児、小学校児童、中学校及び高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生（これらの者に準ずる者を含む。）については、この限りではない。
2 前項本文の規定にかかわらず、同項本文の入場料と合わせてふるさと村のスノーホワイト城又はかまくらシアターの使用料を同時に納める者の入場料（定期券によるものを除く。）については、別表第1に定める金額の範囲内において知事が別に定める。
3 入場料は、特別展示室への入場の都度徴収する。ただし、定期券による入場に当たっては、これを発行するときに徴収する。
（入場料等の減免）

第8条
知事は、特別の理由があると認めたときは、入場料を減免することができる。
（入場料等の不還付）

第9条
既に徴収した入場料は、還付しない。ただし、知事は、入館者の責めに帰することができない理由により特別展示室に入場することができなくなった場合その他特に必要があると認めた場合は、その一部又は全部を還付することができる。
（規則への委任）

第10条
この条例に定めるもののほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則
この条例は、平成26年4月20日から施行する。

別表第1
特別展示室の入場料（第7条関係）

区 分	金 額（一人につき）
普通料金	820円。ただし、知事が別に定める展示にあつては、1,500円を超えない範囲内で知事が定める額
団体料金 （20人以上の団体）	740円。ただし、知事が別に定める展示にあつては、1,350円を超えない範囲内で知事が定める額
定期券 （有効期間1年）	2,500円。

教育機関の管理及び運営に関する規則（抜粋）

（趣旨）

第 1 条

この規則は、学校以外の教育機関の管理及び運営の基本的事項を定めるものとする。

第12条

条例第 5 条の規定による使用料の減免を受けようとする者は、別に定めるところにより、申請書を知事に提出しなければならない。

第 8 章の 2 近代美術館

（開館時間）

第37条の 2

秋田県立近代美術館（以下この章において「近代美術館」という。）の開館時間は、午前 9 時30分から午後 5 時までとする。ただし、近代美術館の長（以下この章において「館長」という。）は、必要があると認めるときは、当該時間を変更することができる。

（休館日）

第37条の 3

近代美術館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

- 1 年始（1 月 1 日及び 1 月 2 日）
- 2 年末（12月29日から12月31日まで）

（資料の館外貸出し等）

第37条の 4

近代美術館の資料の館外貸出しを受け、又は特別利用しようとする者は、館長の定めるところにより、所要の手続きを経なければならない。

（準用）

第37条の5

第 3 条第 3 項及び第 4 項の規定は近代美術館の休館日の取扱い等について、第 6 条の規定は近代美術館の利用を拒否し、又は近代美術館からの退去を命ずる場合について、第 7 条の規定は近代美術館に資料を寄贈する場合等の手続について、第12条の規定は秋田県ふるさと村条例(平成 5 年秋田県条例第45号)第 8 条の規定による入場料の減免を受けようとする場合について準用する。

（補則）

第37条の 6

この章に定めるもののほか、近代美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、館長が教育長と協議して別に定める。

附則

この規則は、平成26年 4 月 1 日から施行する。

館内図

7F 36 近美キッズ・ルーム Kid's Room

6F 35 スロープギャラリー Slope Gallery
 34 研修室 Auditorium
 33 授乳室 Baby Room
 32 展示室(3) Exhibition Gallery3
 31 展示室(2) Exhibition Gallery2
 30 展示室(1) Exhibition Gallery1

5F 29 ふれんどリーギャラリー Friendly Gallery
 28 ハイビジョンギャラリー Hi-Vision Gallery
 27 中央ホール Main Hall
 26 展示室(4) Exhibition Gallery4
 25 展示室(3) Exhibition Gallery3
 24 展示室(2) Exhibition Gallery2
 23 展示室(1) Exhibition Gallery1

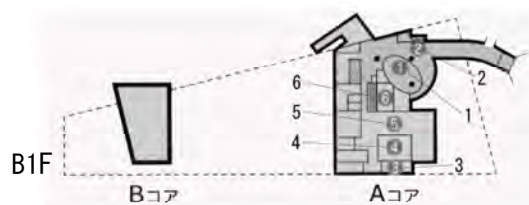
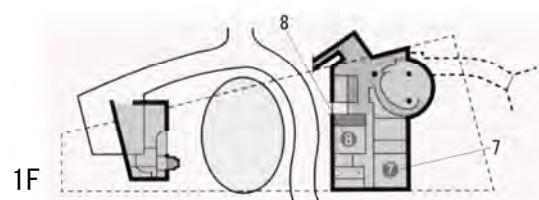
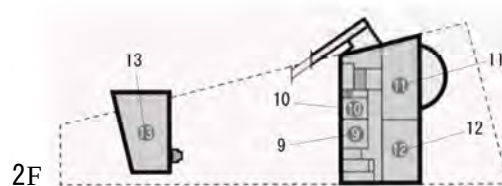
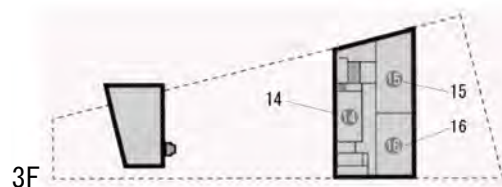
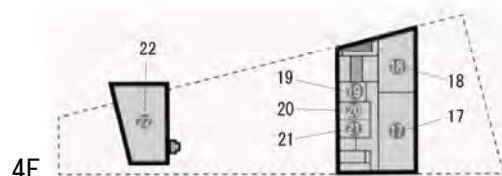
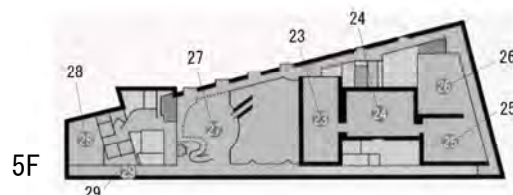
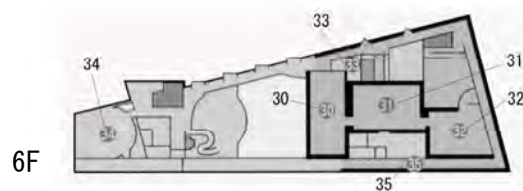
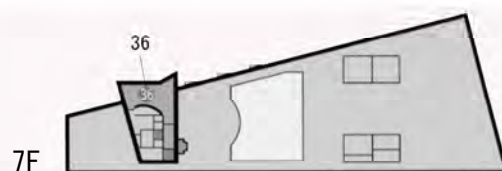
4F 22 電気室 Electric Room
 21 調査・研究室 Study Room
 20 館長室 Director's Room
 19 応接室 Lounge
 18 図書・資料室 Library
 17 事務室 Museum Office

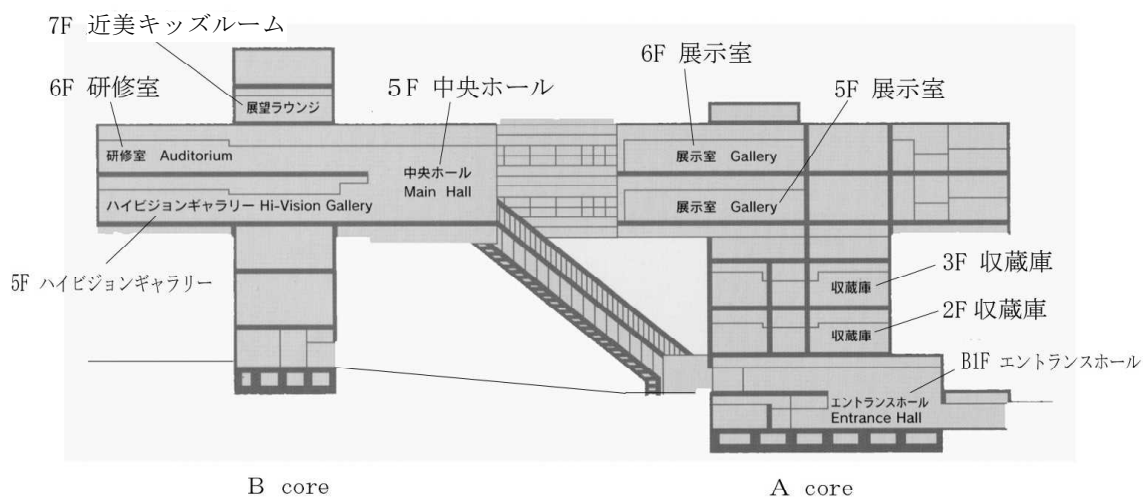
3F 16 収蔵庫(5) Storage Room5
 15 収蔵庫(4) Storage Room4
 14 収蔵庫(3) Storage Room3

2F 13 機械室 Machine Room
 12 収蔵庫(2) Storage Room2
 11 収蔵庫(1) Storage Room1
 10 暗室 Dark Room
 9 写真室 Photo Studio

1F 8 会議室 Conference Room
 7 実習室 Atelier

B1F 6 燻蒸室 Fumigation Room
 5 荷解室 Packing Room
 4 一時保管庫 Temporary Storage Room
 3 管理室 Guard Room
 2 インフォメーション Information
 1 エントランスホール Entrance Hall





- 1 エントランスホール
彫刻が並ぶアプローチギャラリーを抜けると大理石の壁に囲まれたエントランスホールが広がります。
- 2 エスカレーター 外の景色をながめながら、1階から5階へと皆様をお連れします。
- 3 中央ホール 自然光一杯のアトリウムは展示スペースへの入り口です。正面にハイビジョンギャラリー、右へ進むと展示室へと続きます。
- 4 ハイビジョンギャラリー 美術館の所蔵品や国内外の名作を高精細度の画像で提供するスペースです。
- 5 展示室 5階 4部屋の企画展示室では、美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を特色あるテーマでご紹介します。また6階3部屋のコレクション展示室では、年4～6回の展示替えを行いながら、美術館の所蔵品を常時公開しています。
- 6 実習室 専門的な技法講座や基礎的な美術講座など、幅広い実技講座を行います。
- 7 研修室 充実したAV機器を完備し、展覧会に合わせた講演会の開催や美術史講座など、多目的に活用できるスペースです。
- 8 収蔵庫 5室からなる収蔵庫は、温湿度管理によって多くの作品保存・管理に対応できる機能をもっています。
- 9 野外展示スペース 自然の起伏を利用した緑の中の展示空間です。見るだけでなく、直に触れることで、より身近に作品を鑑賞していただけます。

利用案内

◆開館時間

午前9時30分～午後5時00分
(入館は午後4時30分まで)

◆休館日 (2017年度)

2017年12月29日～12月31日(年末休館)
2018年 1月 9日～ 1月18日(メンテナンス休館)
2018年 2月 1日～ 3月31日(改修工事に伴う休館)

◆料 金

	一般	高・大学生	小・中学生	未就学児	障害者
特別展 スズキコージ展	900円	600円	300円	無料	半額
団体(20名以上)・前売り料金	700円	500円	200円		
特別展 ミューズ:まなざしの 先の女性たち展	1,000円	500円	無料	無料	半額
団体(20名以上)・前売り料金	800円	400円			
特別展 明治工芸の至宝展	1,000円	500円	無料	無料	半額
団体(20名以上)・前売り料金	800円	400円			
特別展 千葉禎介写真展	500円	無料	無料	無料	無料
団体(20名以上)・シルバー(70歳以上)料金	450円				
企画展・コレクション展	無料	無料	無料	無料	無料

教育課程に基づく学習活動として利用する児童・生徒・学生及び引率者の入館料は免除されます。あらかじめ「観覧料免除申請書」を提出し、その承認を受けて下さい。

General Information

◆Museum hours

9:30 a.m. ～5:00 p.m. (Last Admission 4:30 p.m.)

◆Closed (Fiscal year 2017)

- ・Dec. 29-31, 2017 Year-end Holidays
- ・Jan. 9-18, 2018 Maintenance Week
- ・Feb. 1-Mar. 31, 2018 Repair in facilities

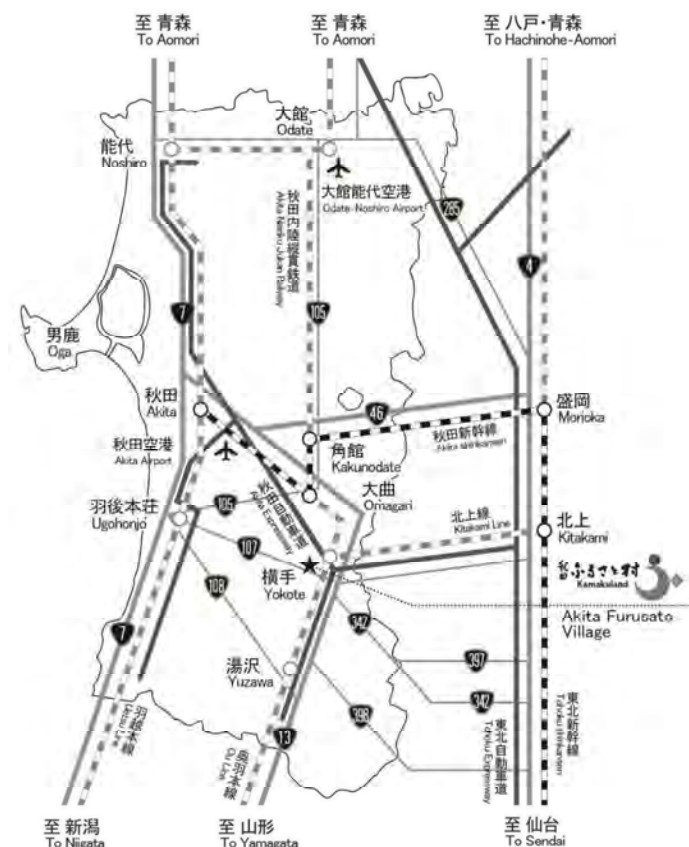
◆Admission Fee

	Adult	senior high school & college student	elementary school & junior high school student	pre-school child	handicapped person
Special Exhibition Koji Suzuki ※	¥900	¥600	¥300	¥0	¥450
Special Exhibition Muse :Women before the Artist's Eye ※	¥1,000	¥500	¥0	¥0	¥500
Special Exhibition Meiji Kogei no Shiho ※	¥1,000	¥500	¥0	¥0	¥500
Special Exhibition Teisuke Chiba *	¥500	¥0	¥0	¥0	¥0
Permanent Exhibition	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0

※ Group Discount (20 persons and more) & an advance ticket.

* Group Discount (20 persons and more) & Senior discount
(persons of 70 and above) .

交通案内 Transportation



- ・(JRとバスで)
JR横手駅東口からバス「ふるさと村行き」で、ふるさと村下車
- ・(お車で)
秋田自動車道 横手インターより3分
- ・(高速バスで)
高速バス 湯沢・秋田線「横手インター入口」下車 徒歩10分
- ・(By JR train and bus)
Get off at JR Yokote Station. Go out of the East Exit and take the bus for Akita-Furusato Mura.
- ・(By car)
Get off at Yokote Interchange on the Akita Express Way, then you will get there in 3 minutes.
- ・(By Express bus, Yuzawa-Akita Line)
Get off at "Yokote Inter Iriguchi", then you will get there in 10 minutes on foot.

秋田県立近代美術館年報 2018年6月発行

編集・発行 秋田県立近代美術館

〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46

TEL. 0182-33-8855 FAX. 0182-33-8858

URL http://www.pref.akita.jp/gakusyu/public_html/index.html

E-mail: akitamma@rnac.ne.jp